

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第29週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-10

< 咽頭結膜熱 > 報告数は2003年以降、急増している
< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第29週の報告数は125例で、第29週までの累積報告数は1,293例である



病原体情報
P.11-14

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年 / エコーウイルス18型 2006年



速報
P.15

エコーウイルス18型の検出状況 - 大分県



海外感染症情報
P.16

タイでの鳥インフルエンザ流行状況 / ドイツにおけるラッサ熱の輸入症例



感染症の話
P.17

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(29週)
P.18-24



29週のデータ
P.25-36



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第29週コメント > 7月27日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

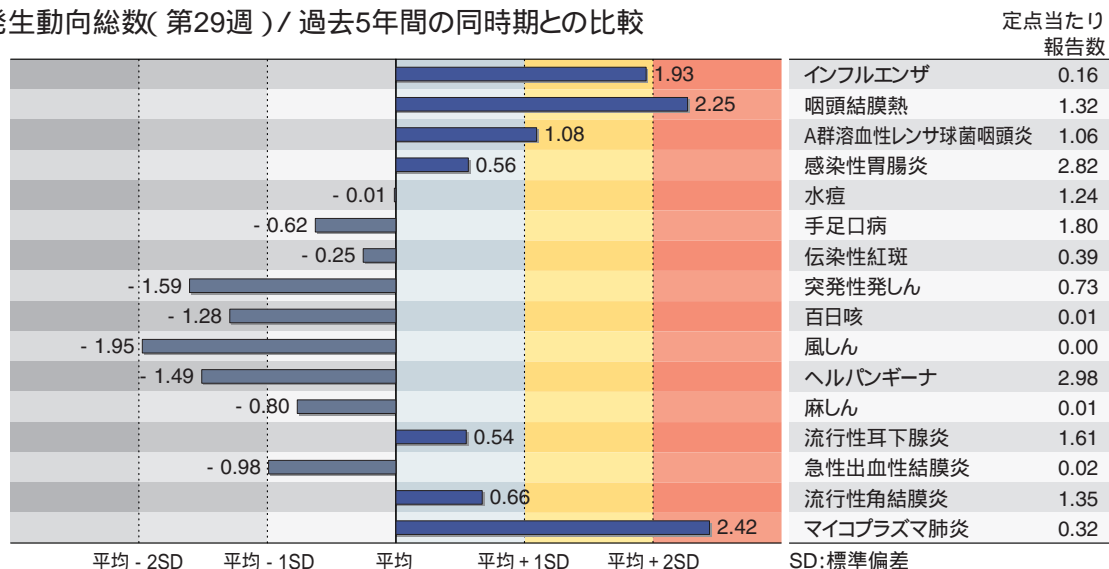
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 6例(感染地域: 熊本県1例、中国1例、韓国1例、タイ1例、ベトナム1例、エジプト1例)
腸チフス 2例(感染地域: インド1例、インドネシア1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 125例(うち有症者95例、HUS 3例)
感染地域: 国内123例、中国1例、インドネシア1例
国内の多い感染地: 愛知県(12例)、神奈川県(9例)、千葉県(7例)、東京都(7例)、兵庫県(7例)
年齢群: 10歳未満(43例)、10代(21例)、20代(19例)、30代(7例)、40代(5例)、50代(11例)、60代(9例)、70歳以上(10例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(72例)、O157 VT2(18例)、O26 VT1(15例)、O111 VT1(3例)、O121 VT1・VT2(2例)、O157 VT1(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O165 VT1・VT2(1例)、その他/不明(10例)
- 4類感染症: A型肝炎 3例(感染地域: すべて長崎県)
つつが虫病 2例(感染地域: 秋田県1例、福島県1例)
ライム病 1例(感染地域: 三重県)
レジオネラ症 7例(すべて肺炎型)
年齢群: 50代5例、60代1例、70代1例
感染地域: 栃木県1例(温泉)、群馬県1例(温泉)、富山県1例、石川県1例、岐阜県1例(温泉)、滋賀県1例、香川県1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 12例(腸管7例、腸管外5例)
感染地域: 国内9例、中国1例、サイパン1例、フィリピン/韓国/サイパン1例
感染経路: 経口3例、性的接触2例(異性間1例、不明1例)、不明7例
- ウイルス性肝炎 4例
B型3例: 感染経路__性的接触2例(と共に異性間)、不明1例
C型1例: 感染経路__不明
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(G群 .50代)
- 後天性免疫不全症候群 11例(無症候9例、AIDS 2例)
感染地域: 国内9例、中国(香港)1例、東南アジア1例
感染経路: 性的接触10例(異性間5例、同性間5例)、不明1例
- ジアルジア症 1例(感染地域: 国内)
- 梅毒 5例(早期顕症11期2例、無症候3例)
- 破傷風 1例(80代)

(補)他に報告遅れとして、エキノコックス症1例(多包条虫 . 感染地域: 北海道)、日本紅斑熱1例(感染地域: 和歌山県)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第29週) / 過去5年間の同時期との比較



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

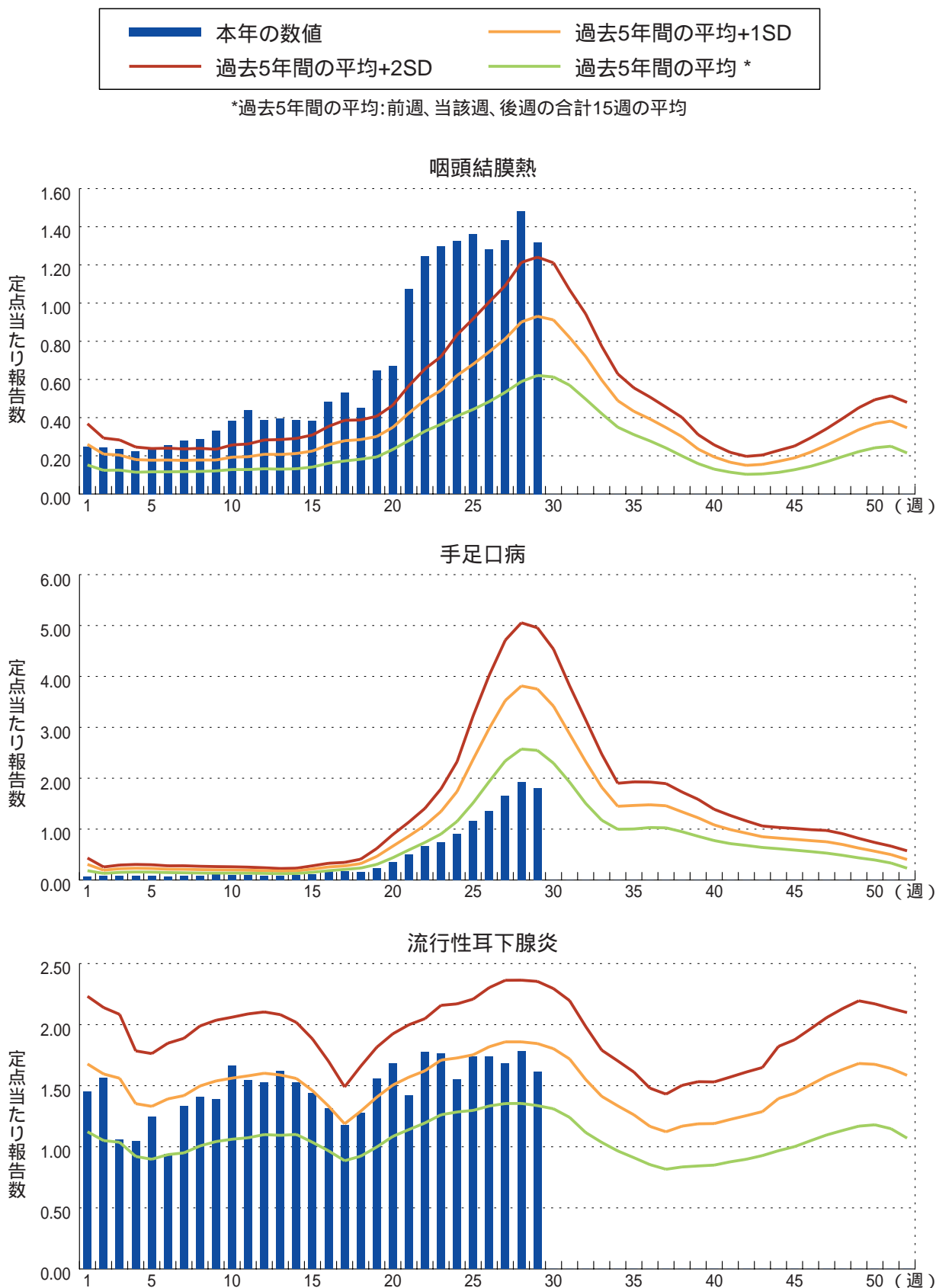
インフルエンザ : 定点当たり報告数は第22週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(6.10)、青森県(1.60)、宮崎県(0.54)、岩手県(0.41)が多い。

小児科定点報告疾患 : RSウイルス感染症は71例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の77%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では宮崎県(2.8)、三重県(2.5)、茨城県(2.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態が続いている。都道府県別では三重県(1.9)、福井県(1.7)、茨城県(1.7)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降、減少が続いている。都道府県別では福井県(8.7)、大分県(6.0)、宮崎県(5.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は第25週以降、減少が続いている。都道府県別では北海道(2.3)、徳島県(2.2)、山形県(2.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(17.1)、岐阜県(7.2)、静岡県(5.4)、愛知県(5.2)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県(1.00)、静岡県(0.80)、山形県(0.73)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県(0.06)、岡山県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では岐阜県(0.04)、兵庫県(0.02)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(8.3)、和歌山県(6.0)、青森県(5.6)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では鳥取県(0.05)、千葉県(0.04)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県(5.0)、新潟県(3.8)、宮崎県(3.0)、長野県(2.9)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では大阪府(2.1)、愛媛県(1.3)、石川県(1.0)が多い。

(補)岡山県および神奈川県麻しん報告については修正予定である。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1~29週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は主にアデノウイルス3型あるいは2型(他に1、5、6型など)を原因とし、咽頭炎、結膜炎を主とする急性ウイルス性感染症である。3主症状は発熱、咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)結膜炎(結膜充血、眼痛、流涙、眼脂)であり、潜伏期間は5~7日、有症状期間は3~5日とされている。感染経路は主に飛沫感染、接触感染であるが、感染力は強力であり、タオル、ドアの把手、エレベーターのボタン、階段の手すりなどを介した間接的な接触によっても感染する場合がある。また、症状消失後も約1か月間に渡って、尿・便中にウイルスが排出されるとされており、さらに無症状病原体保有者も存在する。このため効果的な感染予防対策の実施は困難であり、毎年全国的に乳幼児施設や小児施設において集団発生がみられている。

年齢では、7歳以下が報告の90%前後を占めており、主に乳幼児が罹患する(図1)。時期的には、例年夏季に最も増加し、特に学校や幼稚園が夏季休暇となる29~30週頃に流行のピークを迎えることが多い(図2)。本疾患は別名プール熱とも呼ばれており、過去にプールにおける集団発生の報告もみられていた。しかし、前述したように感染力は強く、プールのみならず日常生活のあらゆるところで感染の可能性がある。実際、例年多くの地域でプール施設が使用される前より報告数は増加し始め、また、例年プールの使用が最も本格化する8月(第31週)以降は、報告数の減少がみられている。

2006年第1週からこれまでに分離されたウイルス(総分離報告数138)では、例年と同様、アデノウイルス3型が52%と最多を占め、次いで2型が多い(図3、図4)。

咽頭結膜熱の報告数は2003年以降、急増している(図5)。加えて、2006年は現時点でさらに報告数の増加がみられている(図2、図6)。これについては、近年ほとんどの小児科系の医療機関でアデノウイルスの迅速検査が普及したことも関係すると考えられる。従って、本疾患の報告数を過去と比較しても、実際の発生状況の変化を正確に表していない可能性もある。本疾患は現在発生のピークを迎えている可能性が高いが、その発生動向には今後とも注意が必要である。

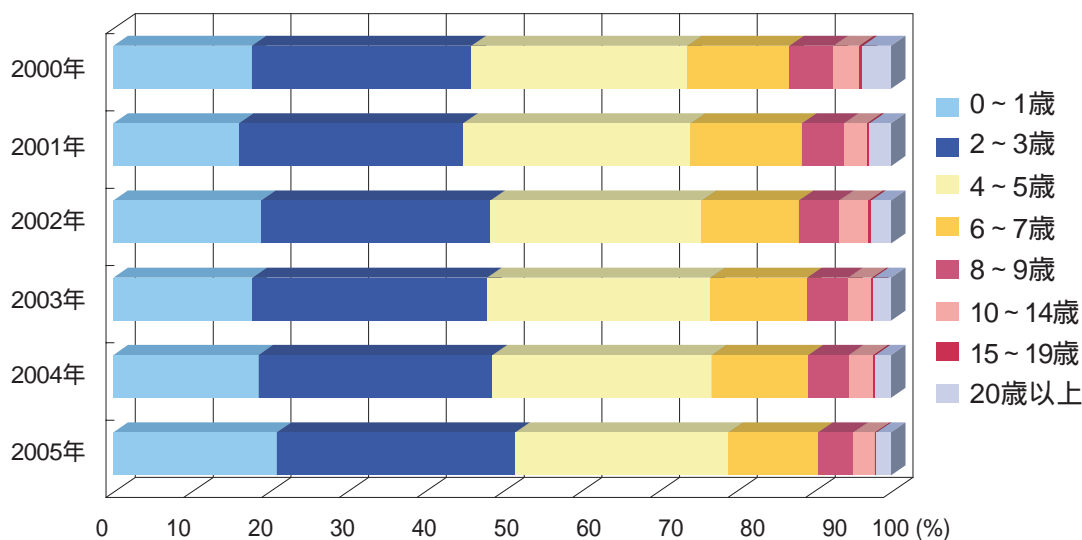


図1. 咽頭結膜熱の報告症例の年別・年齢群別割合(2000 ~ 2005年)

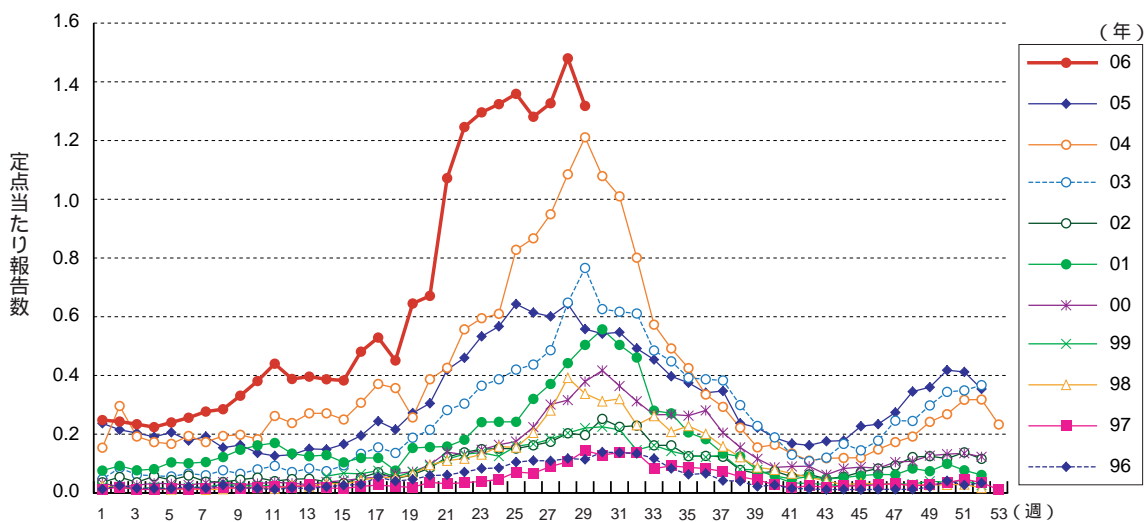


図2. 咽頭結膜熱の年別・週別発生状況(1996～2006年第29週)

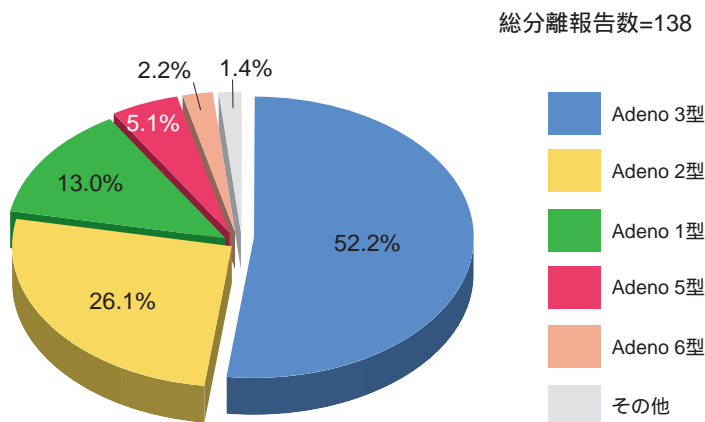


図3. 咽頭結膜熱におけるウイルスの分離状況(2006年第1～29週)

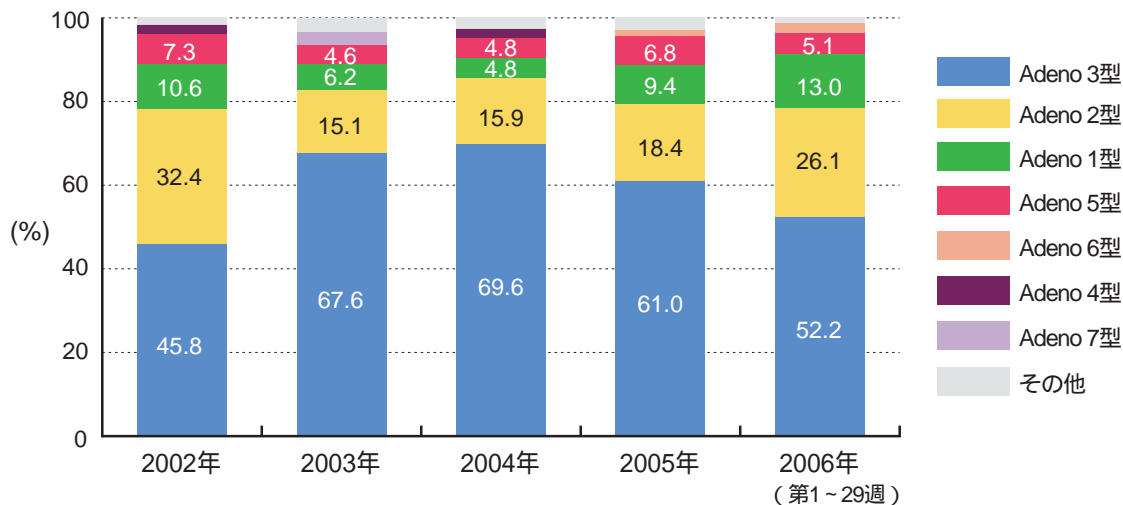


図4. 咽頭結膜熱から分離されたアデノウイルスの年別・型別割合

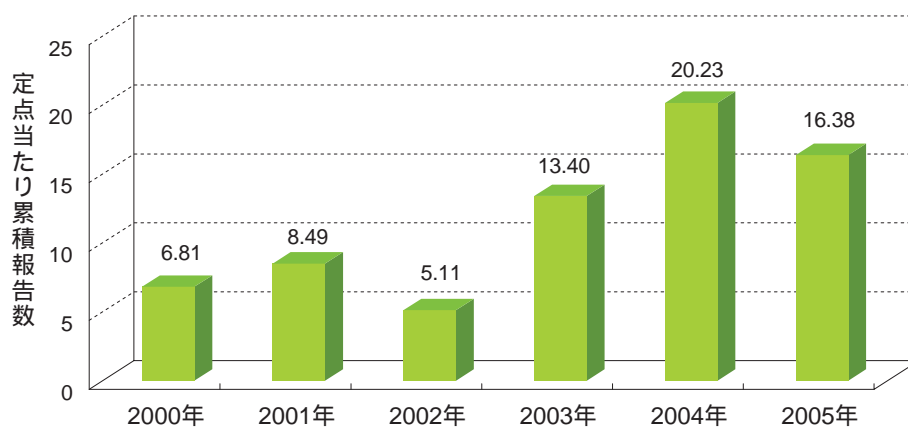


図5. 咽頭結膜熱の年別発生状況

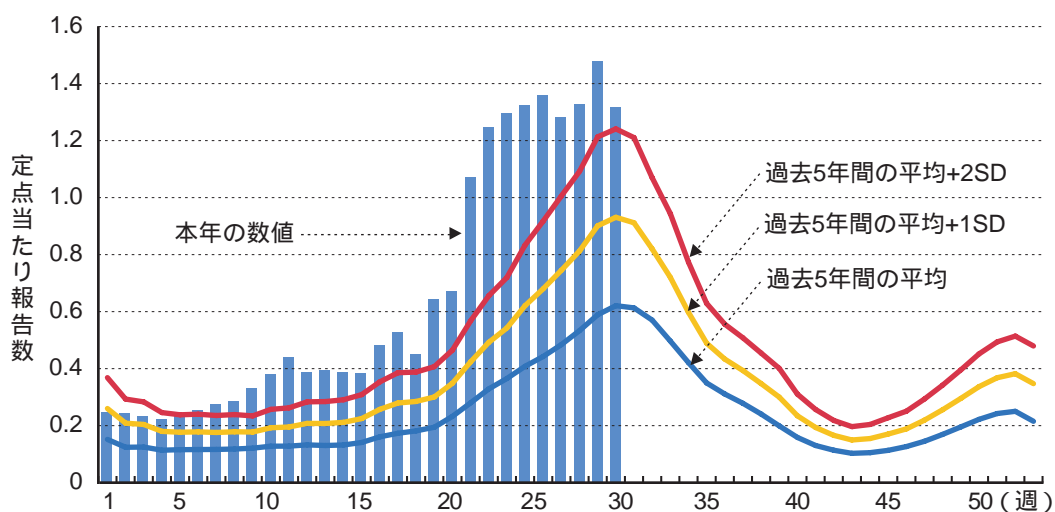


図6. 咽頭結膜熱の週別発生状況の過去5年間との比較

腸管出血性大腸菌感染症

2006年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第15週(27例)から増加が認められ、第20週(59例)に50例を超え、21週以降は80例前後で推移していたが、第26週(137例)に100例を超えた。第27週は134例、第28週は135例であり、第29週は125例であった(図1)。本年第29週までの累積報告数は1,293例であるが、今までのところ例年(2000年1,299例、2001年1,824例、2002年1,407例、2003年977例、2004年1,406例、2005年1,385例)と比べ、多いとは言えない。

第29週に診断された125例についてみると、報告の多かった都道府県は東京都(13例)、愛知県(12例)、神奈川県(10例)、千葉県(9例)、兵庫県(9例)であった(図2a)。千葉県の9例のうち5例は、第28週の1例とともに保育施設関連の集団発生である。また、2006年4月から、国内を感染地域とする場合に、県名などの詳細情報を届け出るようになったが、第29週に感染地域として多かった都道府県は、報告の都道府県とほぼ同様で、愛知県(12例)、神奈川県(9例)、千葉県(7例)、東京都(7例)、兵庫県(7例)であった(図2b)。さらに、国外を感染地域とするものが2例(中国1例、インドネシア1例)みられた。性別では男性74例、女性51例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(43例)が最も多く、約34%を占めた。また、有症状者は95例で、無症状病原体保有者が30例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。分離された菌の血清型・毒素型別は、O157 VT1・VT2(72例)、O157 VT2(18例)、O26 VT1(15例)の順に多かった。

第1～29週の累積報告数1,293例についてみると、報告の多かった都道府県は、大阪府(116例)、東京都(96例)、群馬県(85例)、愛知県(79例)、兵庫県(72例)である(図3)。性別では男性639例、女性654例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(517例)が最も多く、40%を占めている。性別・年齢群別にみると、0～9歳、10～19歳、40～49歳では男性が女性より多く、それ以外の年齢群では女性が男性より多い(図4)。また有症状者は878例(68%)で、無症状病原体保有者が415例である。性別・年齢群別に症状の有無をみると、30～50代では男女ともに無症状病原体保有者が多く、それ以外では有症状者が多い。分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2(514例)、O157 VT2(283例)、O26 VT1(266例)の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は報告遅れ分や追加報告を含み、第29週に4例報告があり、累積では37例となった。また2006年4月から、HUS発症例の届出は、病原体の分離ができない症例であっても、便から直接のベロ毒素の検出や、血清抗体の検出によって届出対象となった。37例のうち10例は、血清抗体の検出により届け出られたものである。死亡については、2006年では第29週までに2例の報告があった。しかし、HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

2006年も既に保育施設での集団発生が散見されている他、飲食店や展示動物に関連した集団発生もみられている。今後、本症の発生はさらに増加するものと予想され、その発生動向には注意が必要である。そのため食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。また保育施設においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前の手洗い指導を徹底し、この季節は簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

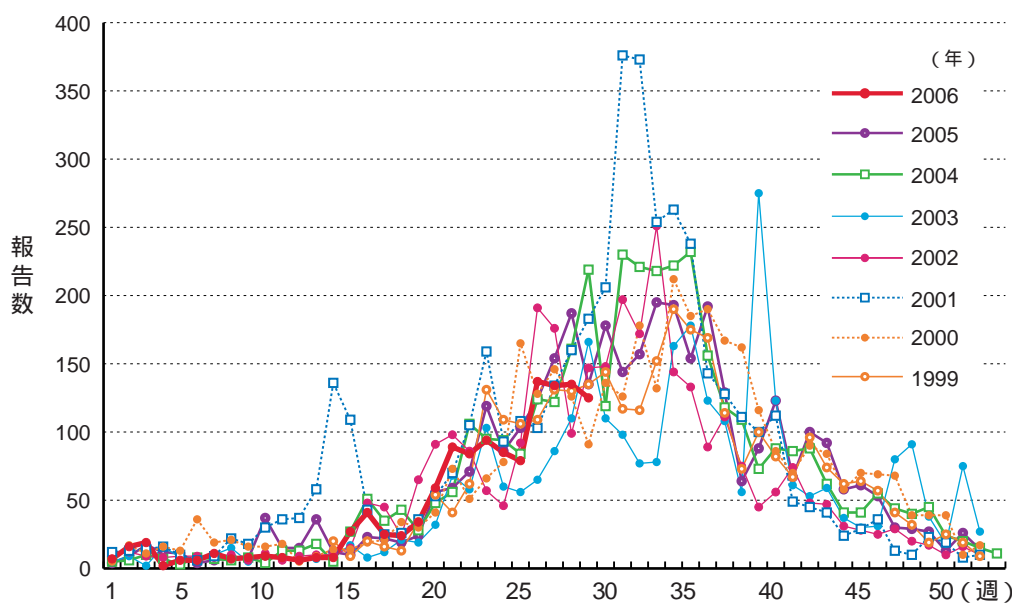


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

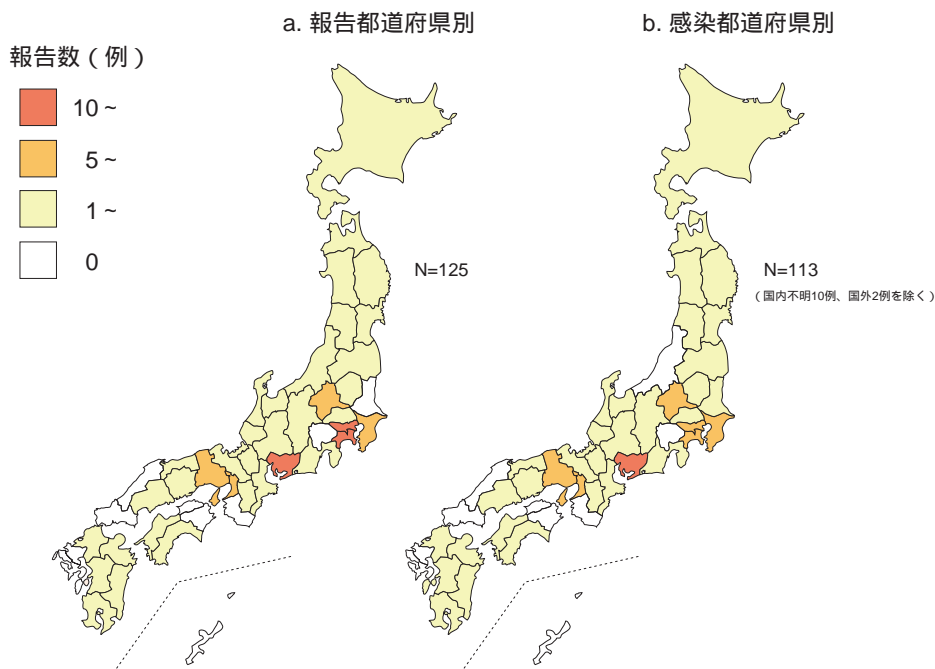


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告・感染状況(2006年第29週)

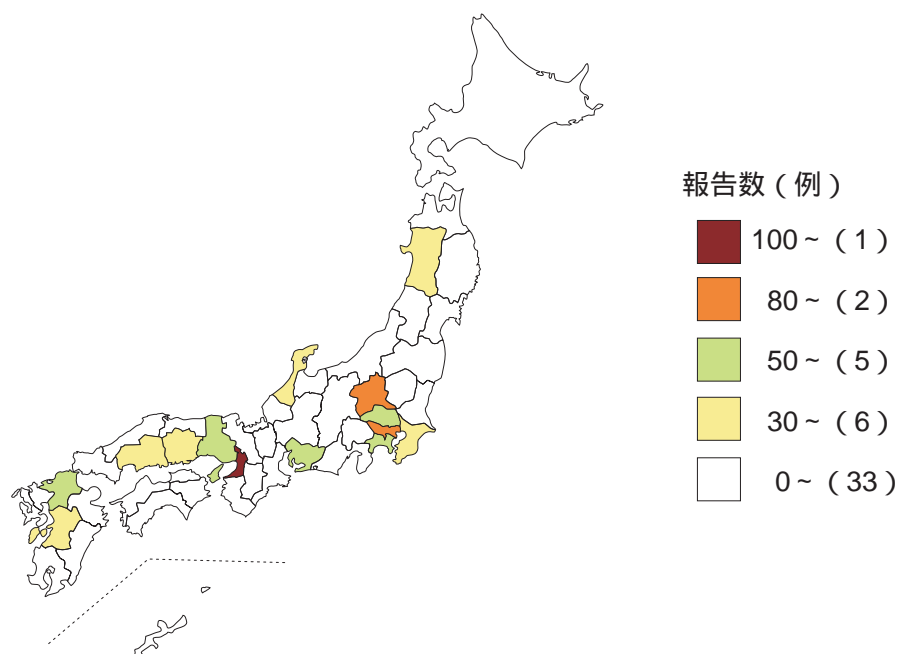


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況(2006年第1～29週)

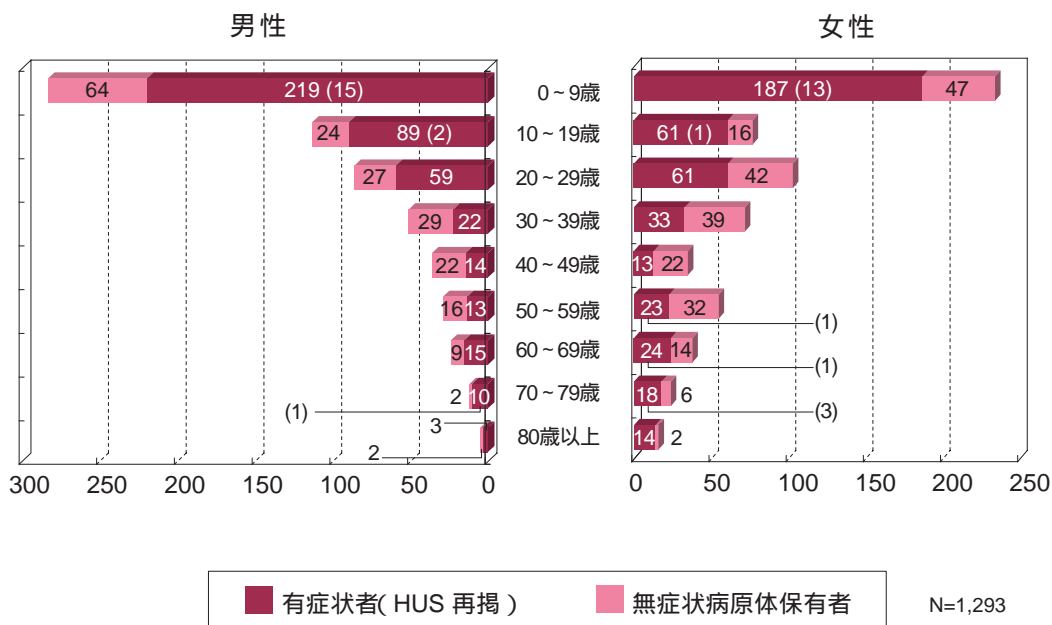


図4. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2006年第1～29週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

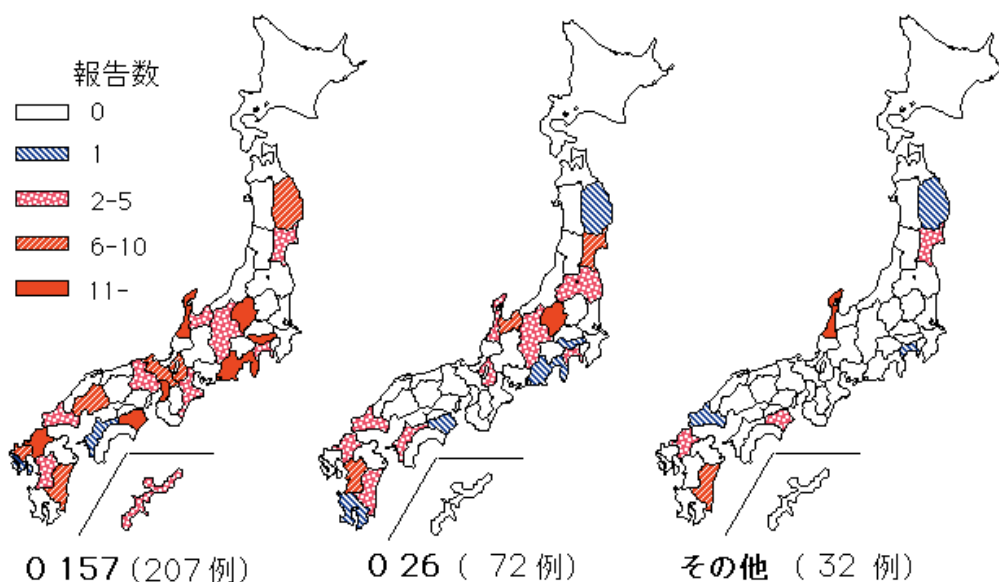
(2006年7月27日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は311件で、O157が207件、O26が72件、その他の血清型が32件報告されている。第26週以降では、第26週に福岡県からO157による旅館・ホテルでの集団発生事例が報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)



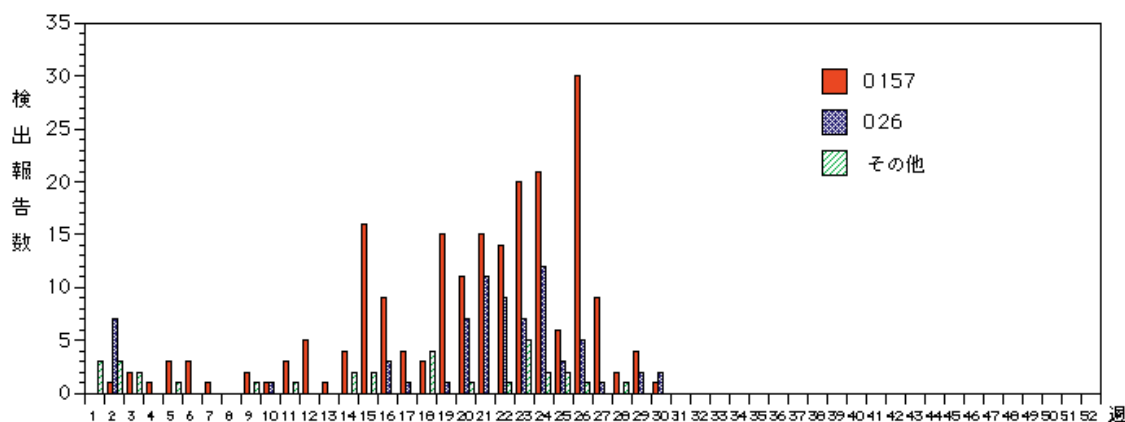
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)



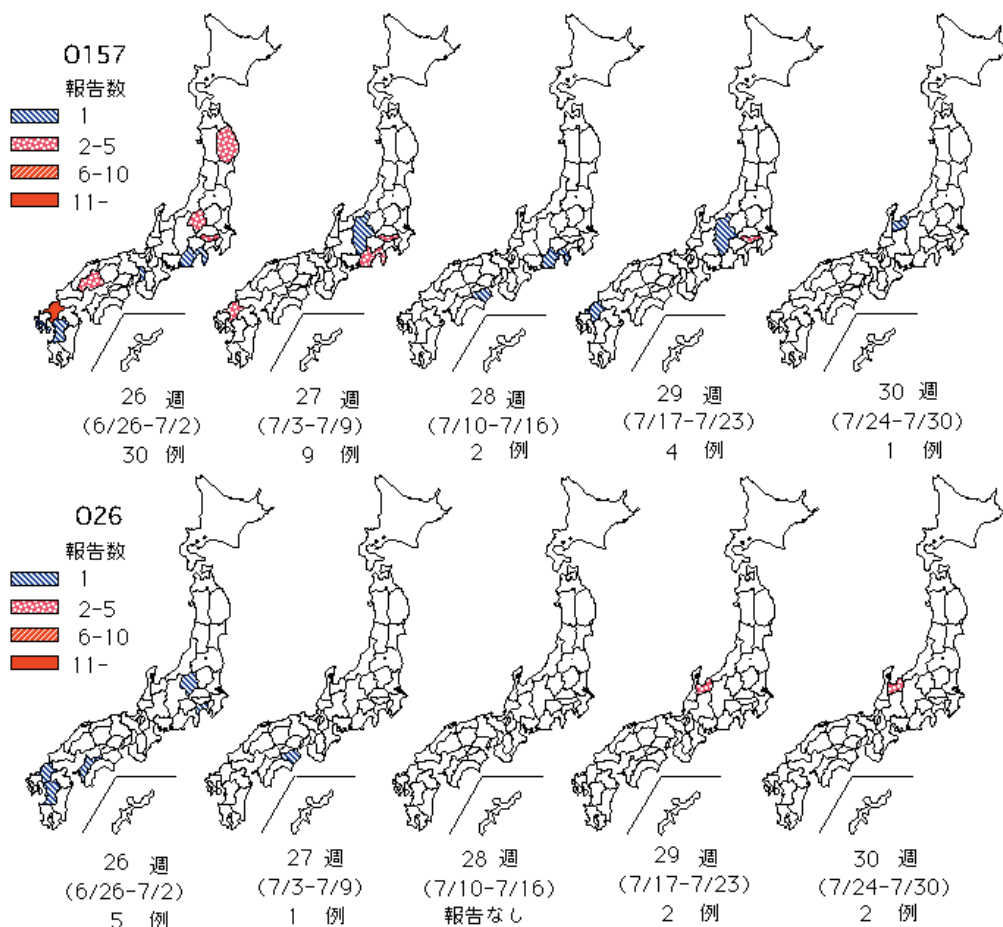
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第26週～第30週

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



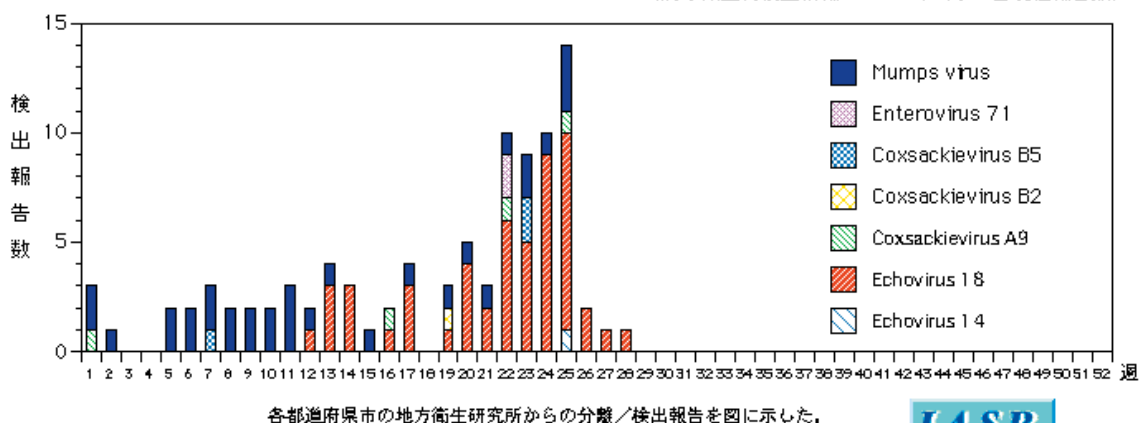
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年

2006年は第12週以降エコーウイルス18型(E18)の報告が続いている。E18が51件、ムンプスウイルスが32件、コクサッキーウイルス(C)A9が4件、CB5が3件、エンテロウイルス71が2件、CB2とE14が各1件、計94件が報告されている。

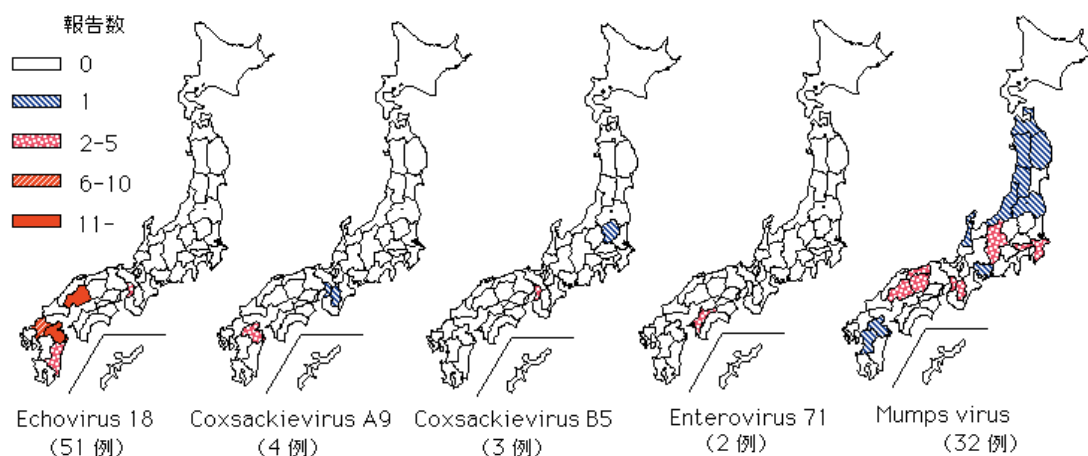
週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)



都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

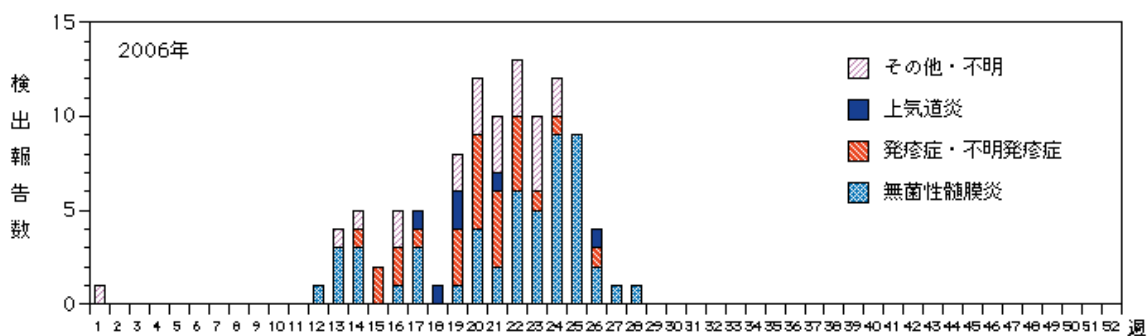


エコーウイルス18型 2006年

2006年は西日本を中心にエコーウイルス18型の報告が増えており、無菌性髄膜炎51件、発疹症・不明発疹症25件、上気道炎6件、インフルエンザ、夏かぜ各3件、ヘルパンギーナ2件など、計104件が報告されている。

週別Echovirus 18分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)

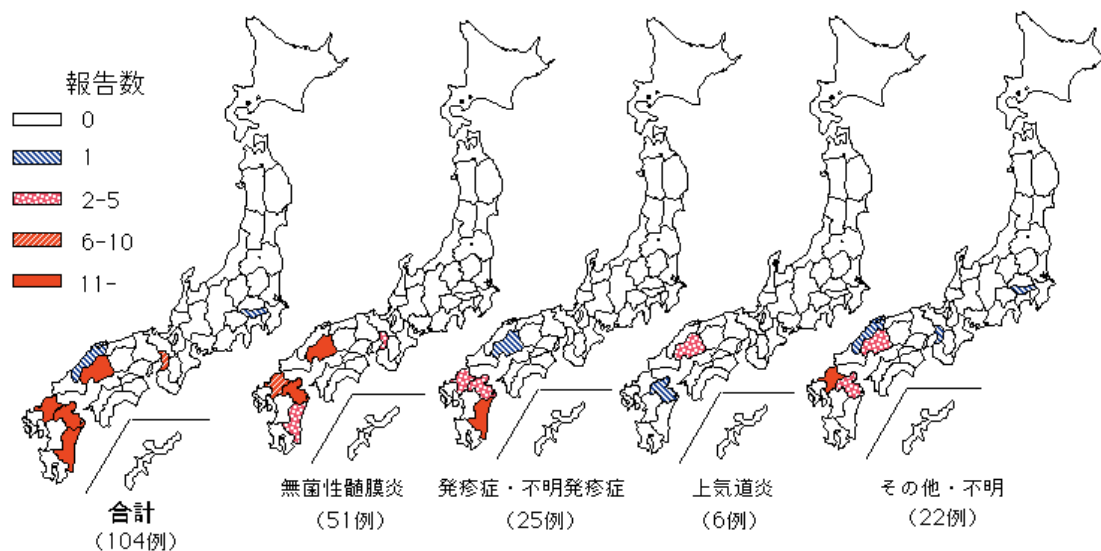


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



都道府県別診断名別Echovirus 18分離・検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年7月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。





エコーウイルス18型の検出状況 - 大分県

大分県における無菌性髄膜炎患者の検体からのウイルス分離は、2002年のエコーウイルス13型による流行以後の3年間では、いずれも少数にとどまっていた。しかし、2006年5月初旬に無菌性髄膜炎を発症した6歳の患児髄液より、大分県内で初めてエコーウイルス18型(E18)が分離同定された。その後、6月に入って無菌性髄膜炎の検体搬入が急激に増加するとともに、同型ウイルスが頻繁に分離されるようになり、7月初旬現在までに、合計26症例から29株のE18が検出された。

E18が検出された検査材料は髄液17検体、咽頭ぬぐい液12検体であった。また26症例のうち10症例では、複数の検査材料(咽頭ぬぐい液と髄液)を用いてウイルスの検出を行ったが、両材料からウイルスが検出できたのは3症例で、咽頭ぬぐい液単独からの検出が6症例、髄液単独からの検出が1症例であった。

月別分離数は5月2症例(2株)、6月20症例(22株)、7月4症例(5株)で、臨床診断名は無菌性髄膜炎22症例、咽頭炎1症例、不明熱性疾患等3症例であった。26症例の年齢分布は1歳2症例、3歳2症例、4歳2症例、5歳4症例、6歳6症例、7歳2症例、8歳1症例、9歳2症例、13歳1症例、不明4症例であった。

ウイルス分離にはHEp-2細胞、RD-18S細胞、Vero細胞、CaCo-2細胞を用いた。CaCo-2細胞では、ウイルス分離可能であった29検体すべてで細胞変性効果(CPE)が出現したのに対し、RD-18S細胞でのCPE出現は11検体で、HEp-2細胞とVero細胞ではCPEが出現しなかった。ウイルスの同定にはCaCo-2細胞培養上清を用い、市販のエンテロウイルス混合抗血清、単味抗血清を用いて行った。

なお、現在も無菌性髄膜炎の検体が多く搬入されており、流行はまだ続くものと思われる。今後の動向を監視していきたい。

大分県衛生環境研究センター

吉用省三 長岡健朗 小河正雄 川島眞也 淵 祐一

(IASR 2006年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

タイでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年7月26日

タイ保健省は、H5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者1名を確定した。患者は北部 Phichit 県 Thap Khlo 地区に住む17歳男性で、2006年7月15日に発症し、20日に入院した後、24日に死亡した。

7月10日、少年は死亡したニワトリの死骸を埋めていた。この症例の発生は時期的に、同県内の動物でのH5N1型感染再流行の確認と一致している。動物での流行制圧対策が実施されており、ヒトでのサーベイランスが強化されている。現地調査では、少年との濃厚接触者の中に呼吸器疾患の徴候を示すものは見つかっていない。

これは、タイでの2006年における初めてのH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者報告である。

ドイツにおけるラッサ熱の輸入症例

WHO/EPR 2006年7月25日

2006年7月21日、ドイツ保健当局はWHOに、ドイツ・ハンブルクのBernhard-Nocht熱帯医学研究所で確定されたラッサ熱の1輸入症例を報告した。

この患者はシエラレオネの住民であるが、2006年7月5日に発熱し、2006年7月10日に空路でドイツに向かい、翌日ドイツに到着した。男性は現在フランクフルトで隔離治療を受けており、ドイツの保健当局は、ウイルスの感染拡大防止のために適切な対策を実施している。

同乗した乗客のラッサ熱感染のリスクはかなり低いものの、ベルリンのロベルトコッホ研究所の調整の元で、国際的な接触者追跡調査が行われている。

関係するフライトは次のとおり:

2006年7月10日 SNブリュッセル航空: フライトナンバーSN 207, シエラレオネ・フリータウン発コートジボワール・アビジャン経由、ベルギー・ブリュッセル行き

2006年7月11日 SNブリュッセル航空: フライトナンバーSN 2607, ベルギー・ブリュッセル発ドイツ・フランクフルト行き

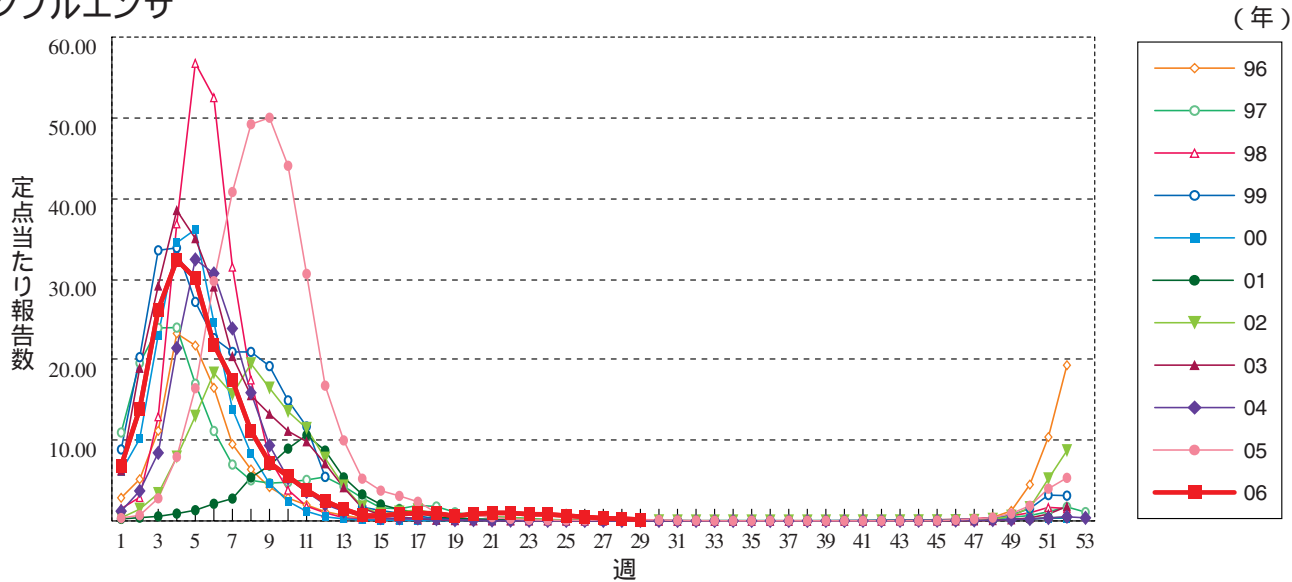


感染症の話

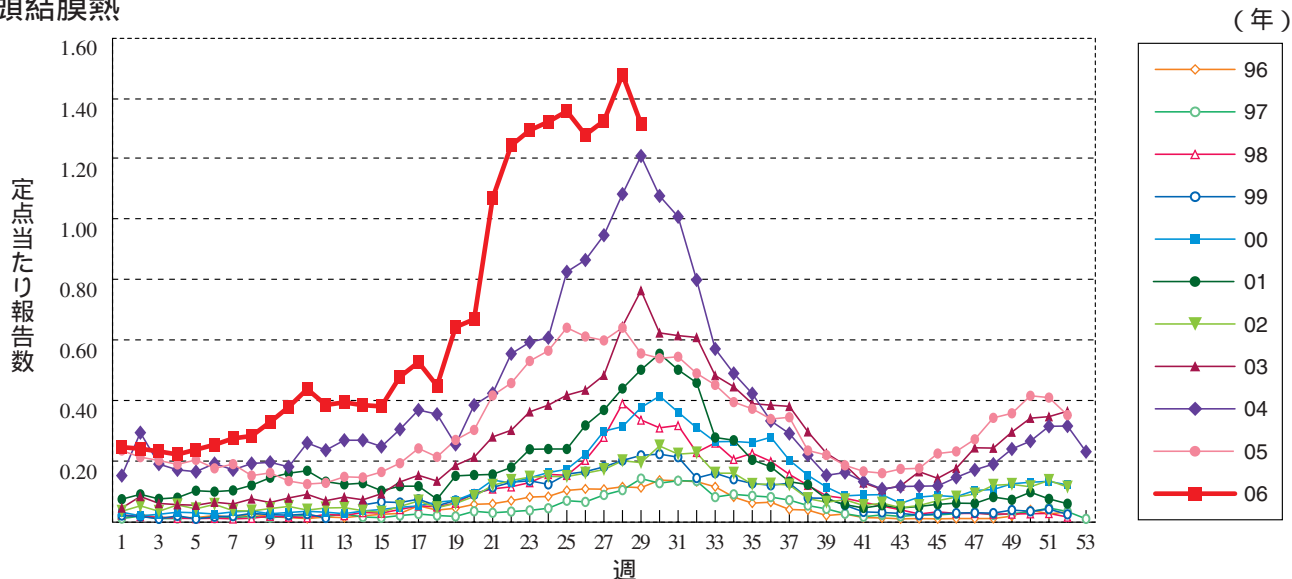
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(29週)

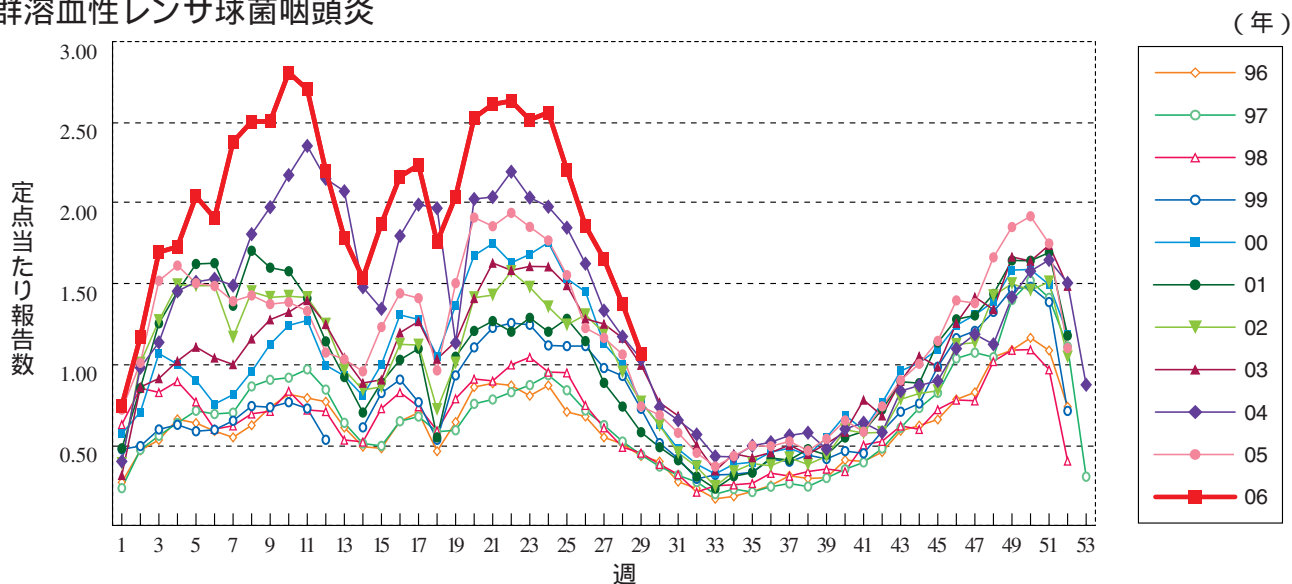
インフルエンザ



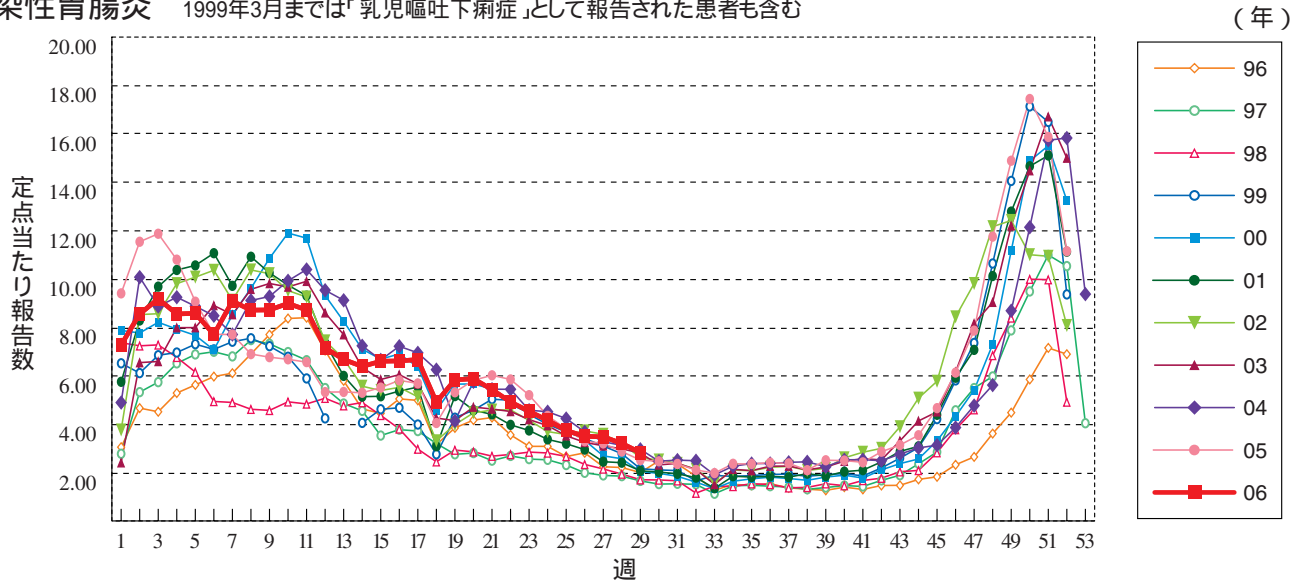
咽頭結膜熱



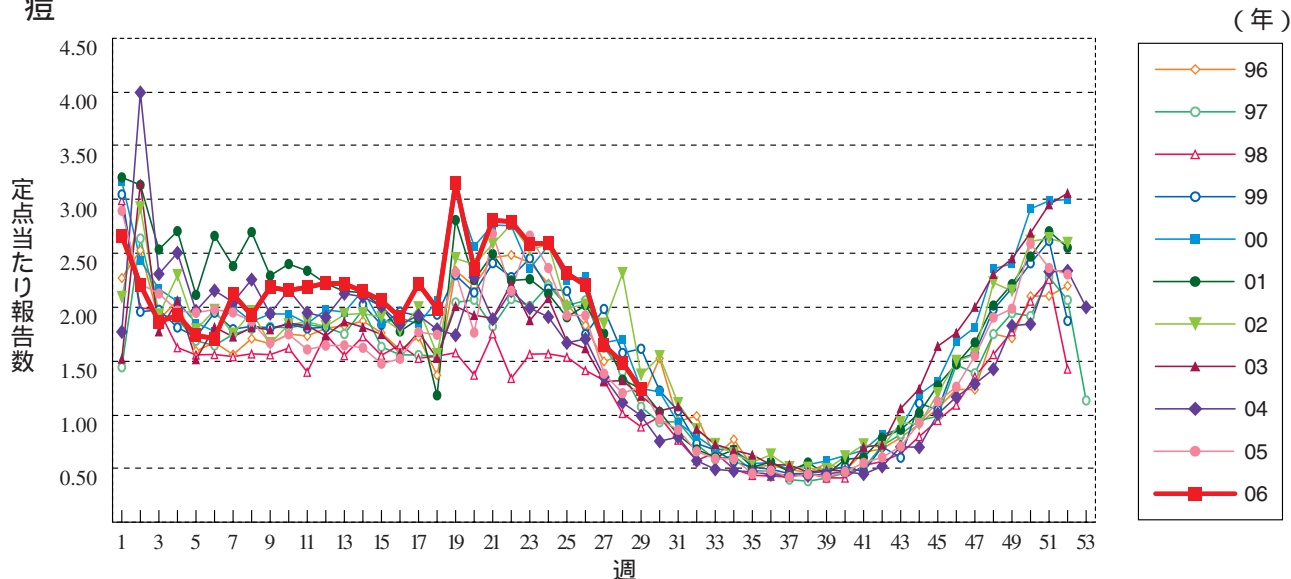
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



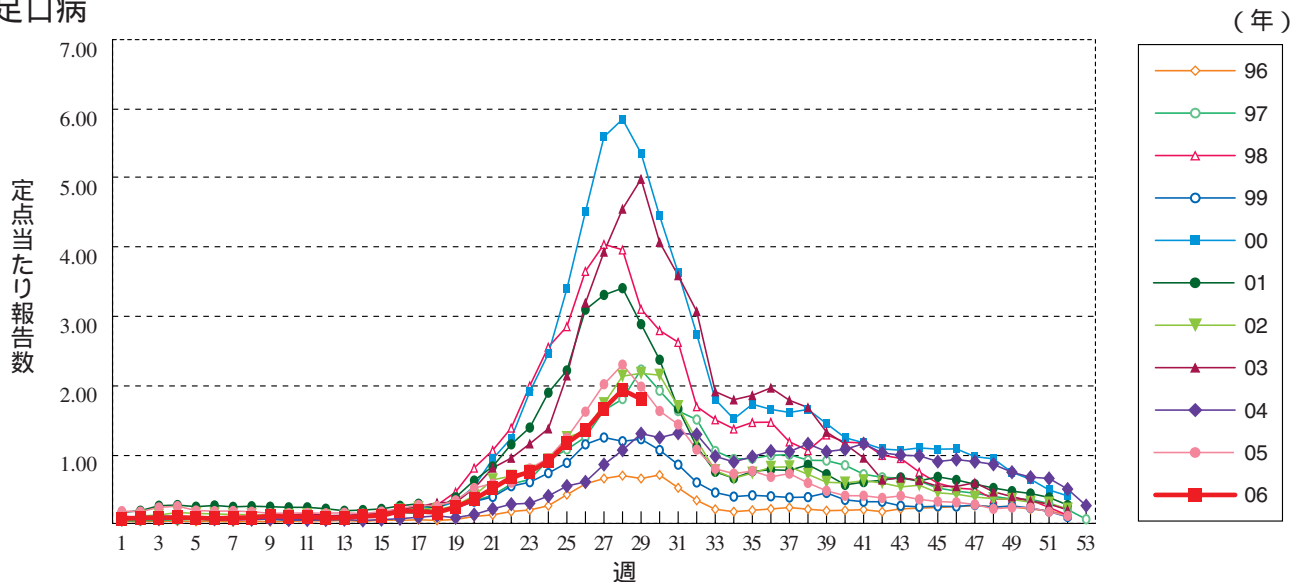
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



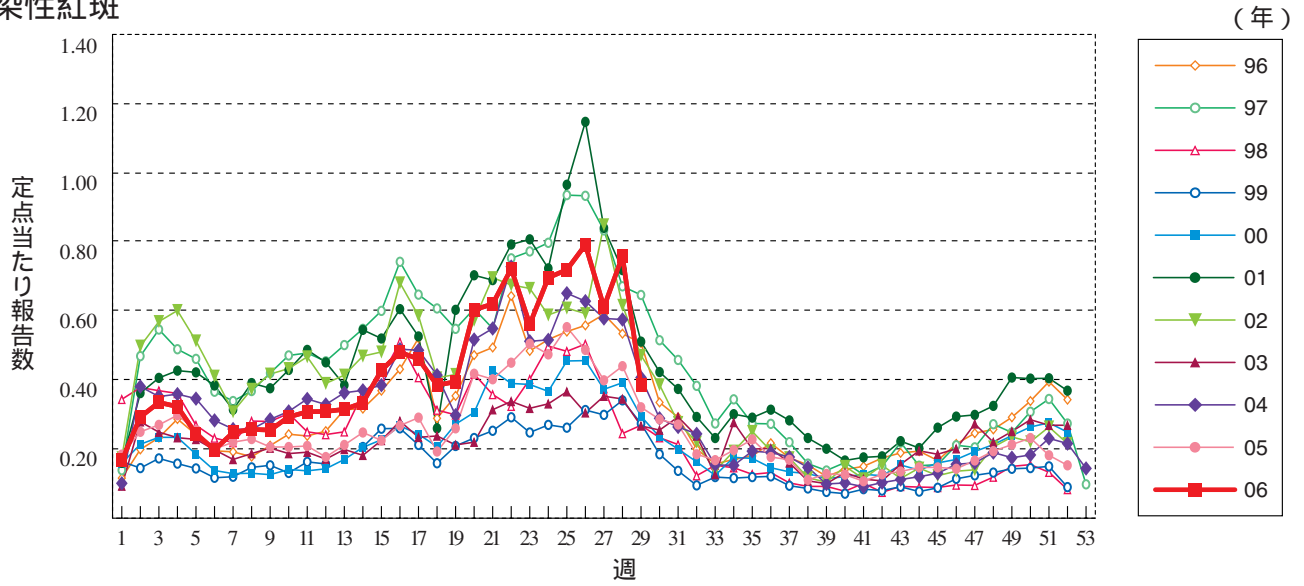
水痘



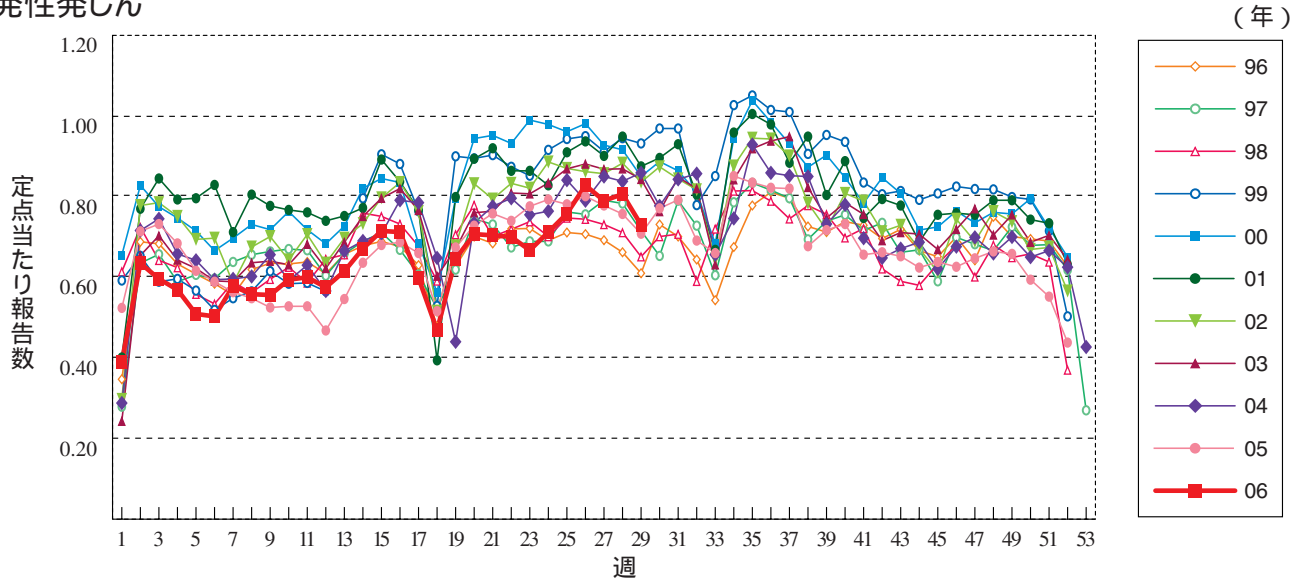
手足口病



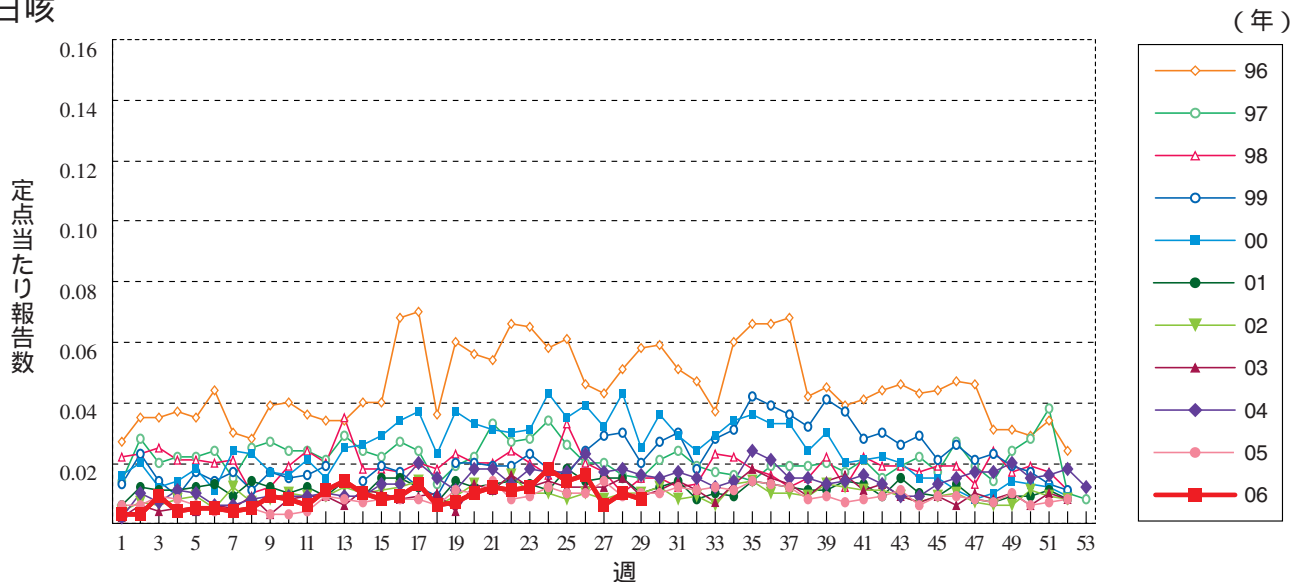
伝染性紅斑



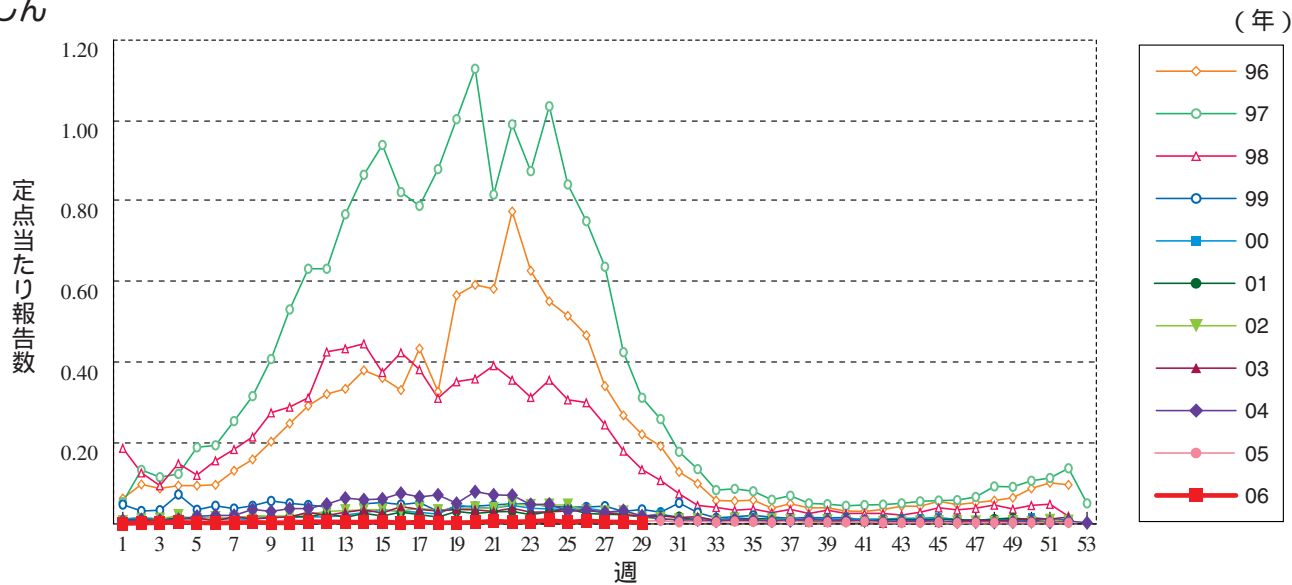
突発性発しん



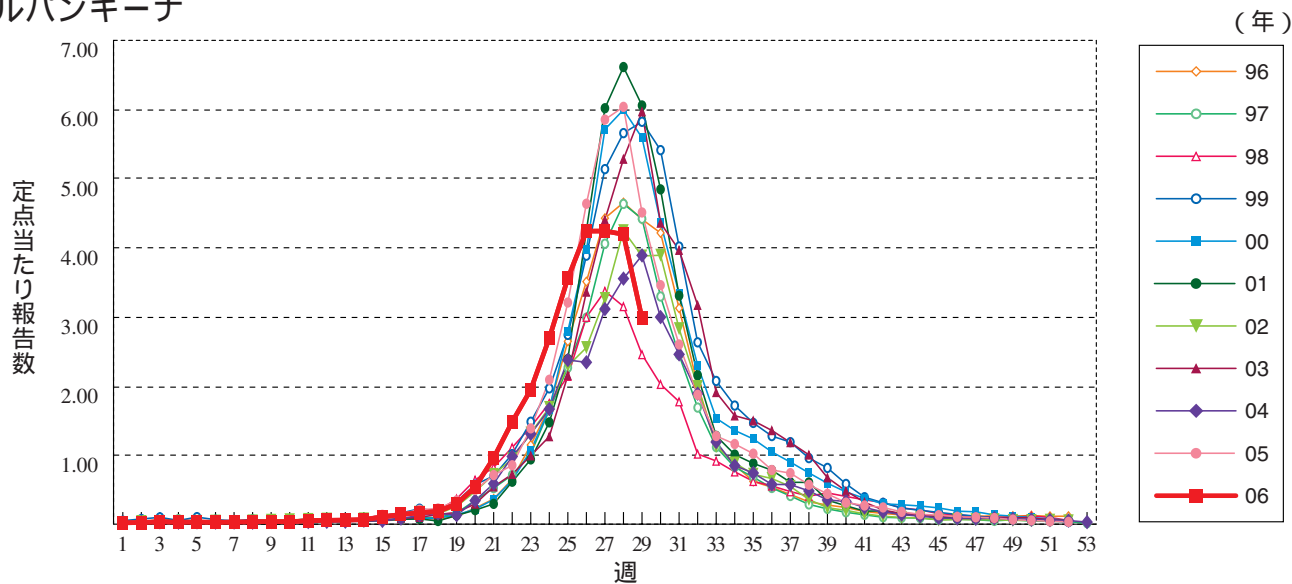
百日咳



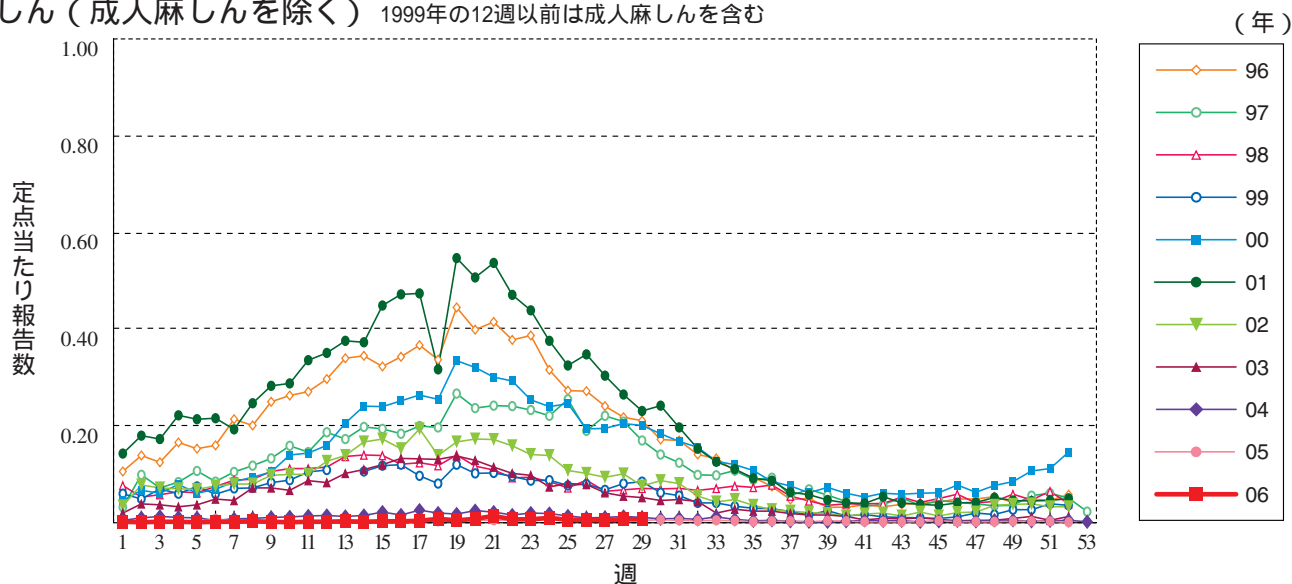
風しん



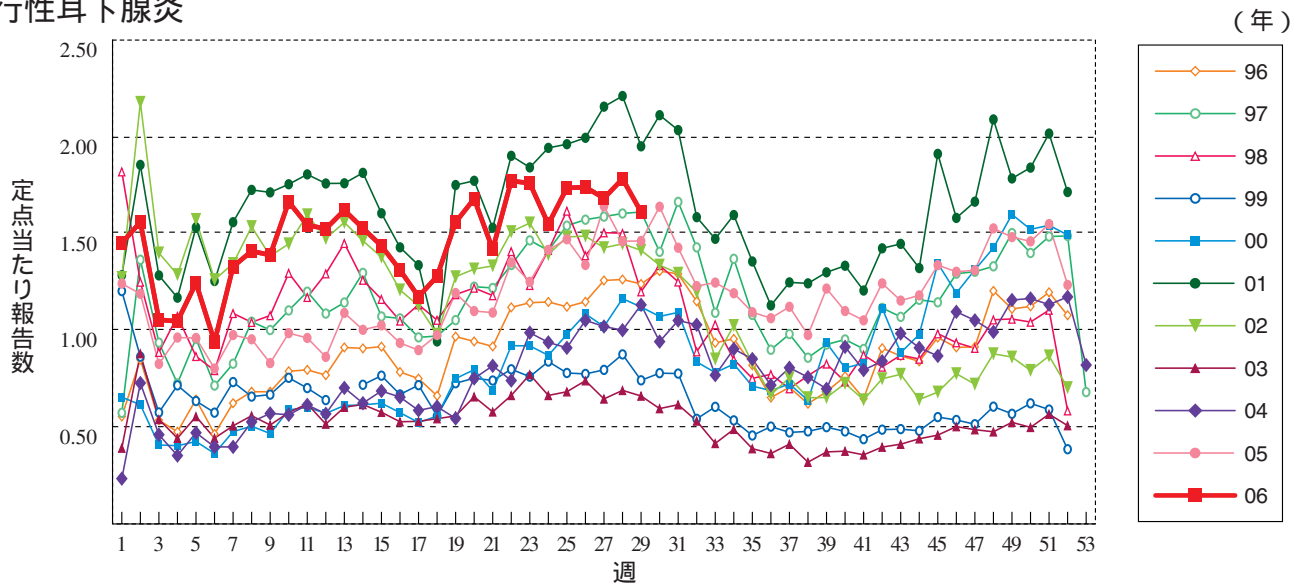
ヘルパンギーナ



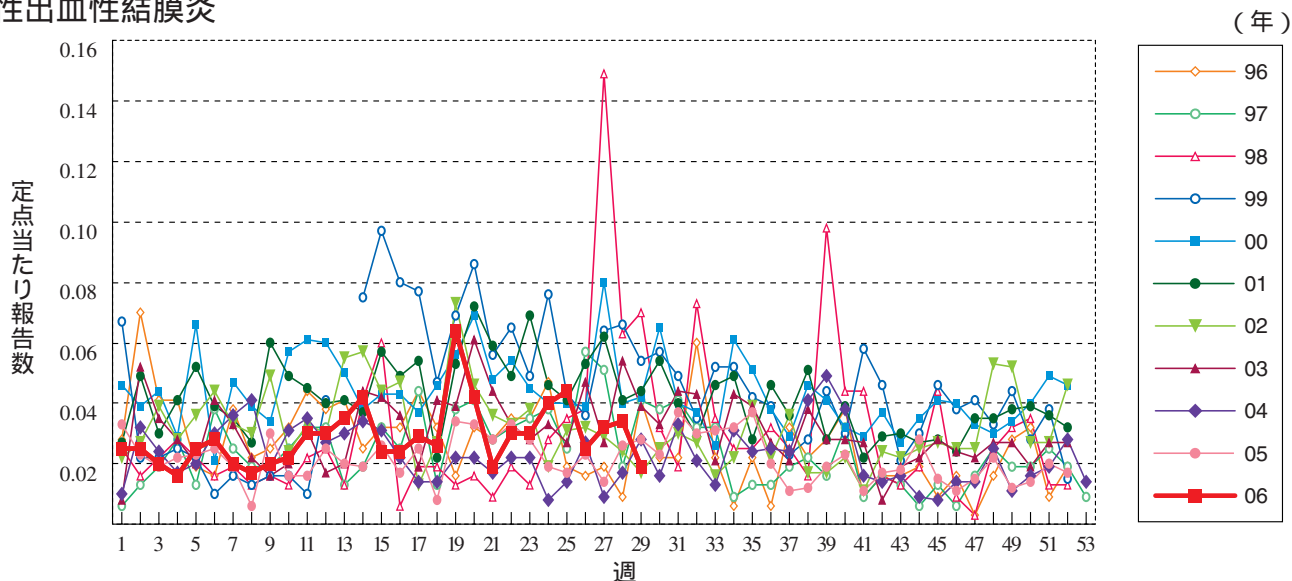
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



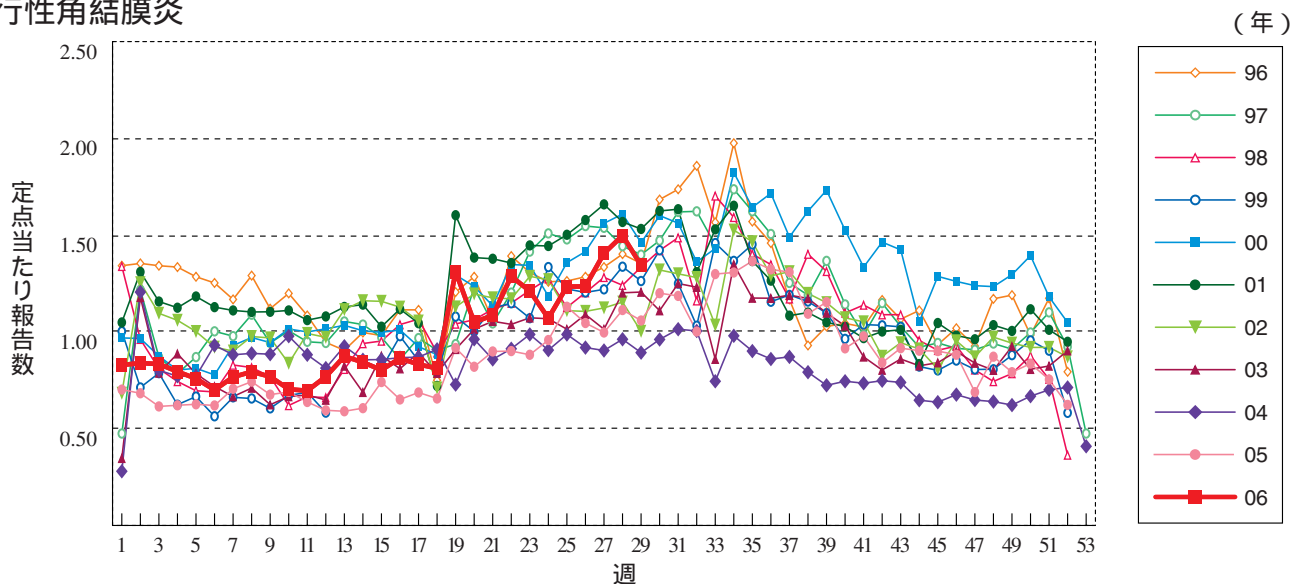
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

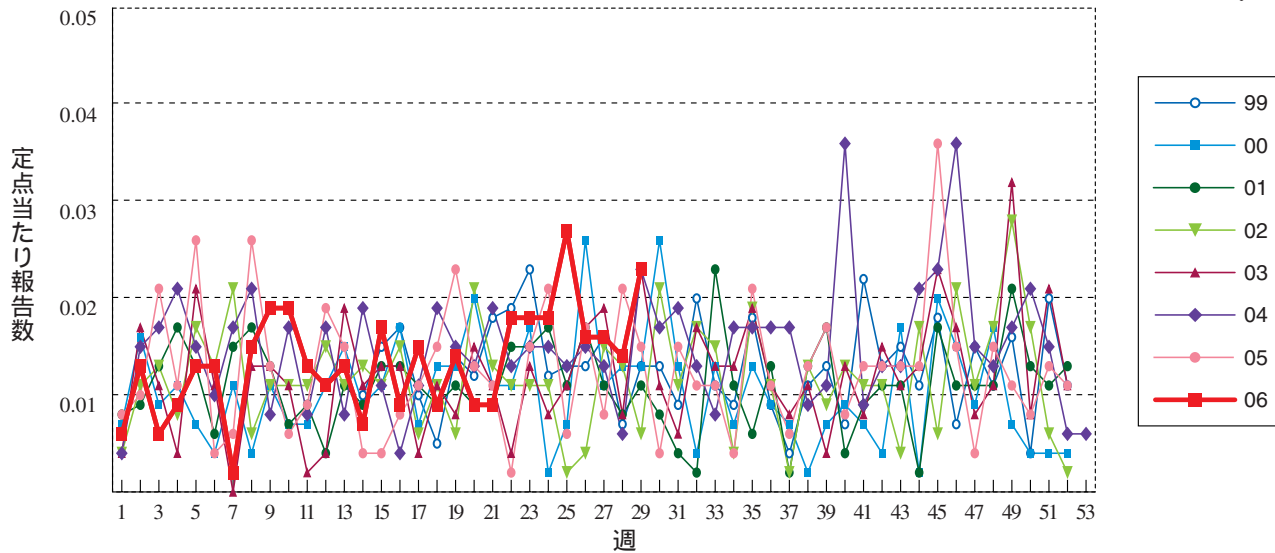


流行性角結膜炎



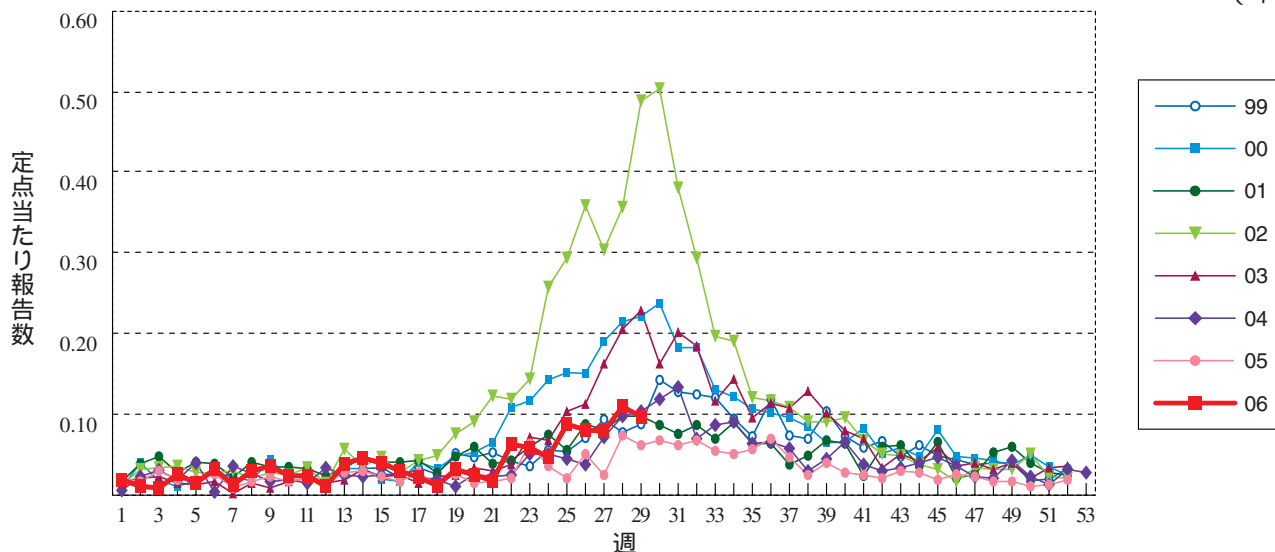
細菌性髄膜炎

(年)



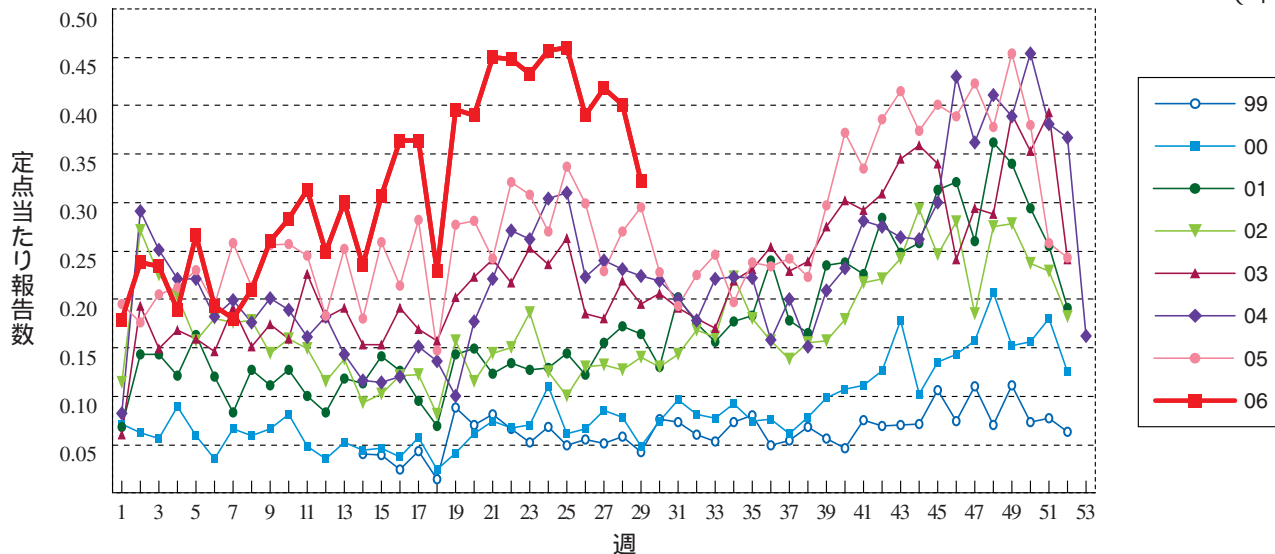
無菌性髄膜炎

(年)



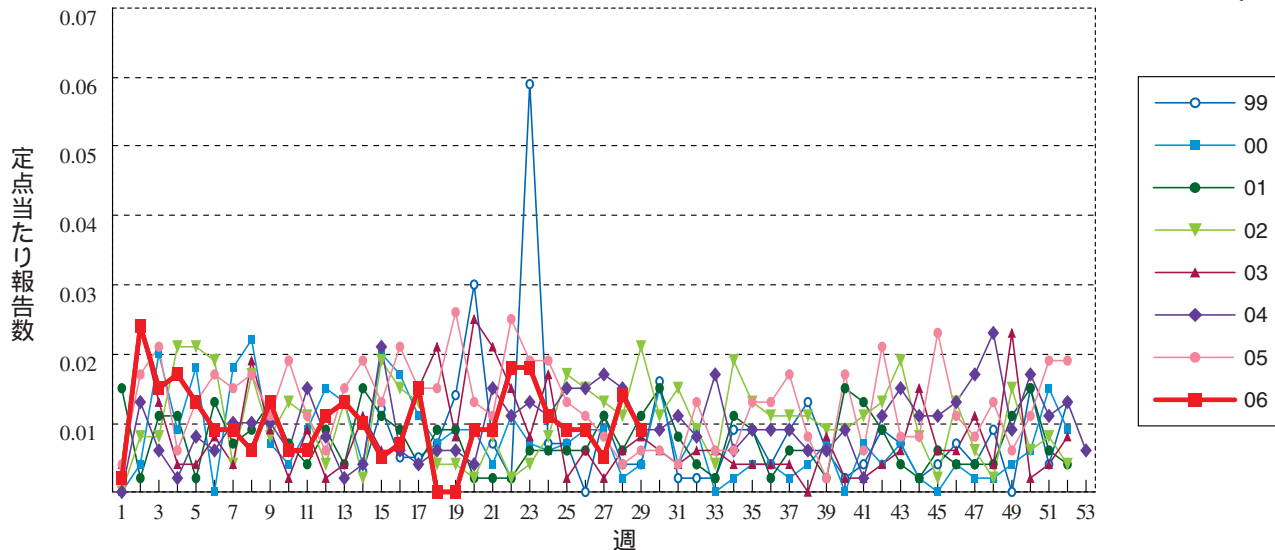
マイコプラズマ肺炎

(年)



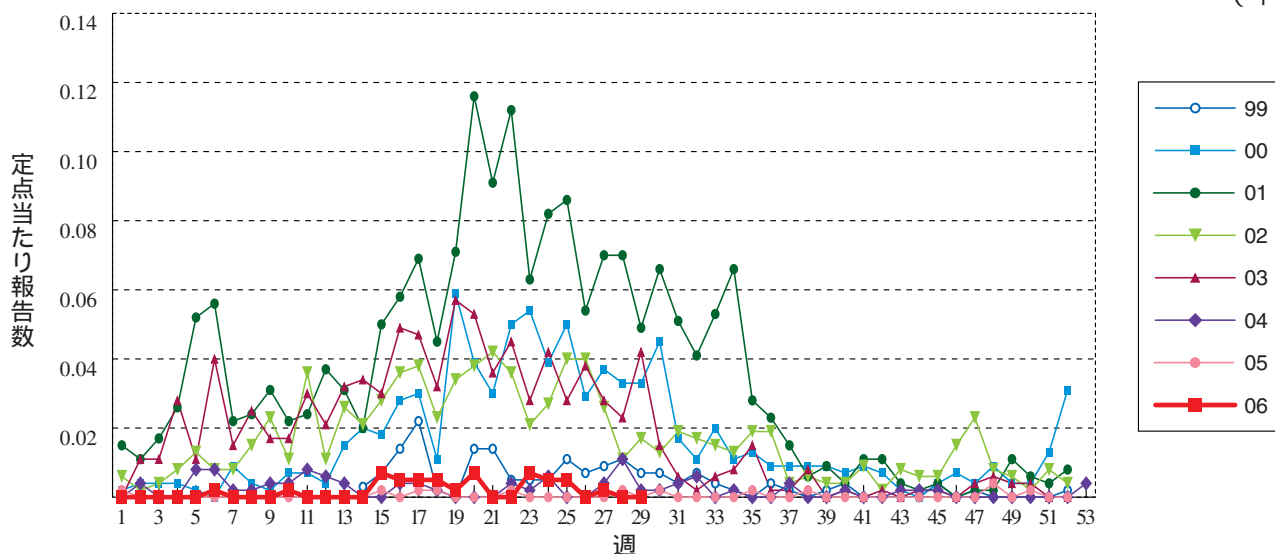
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



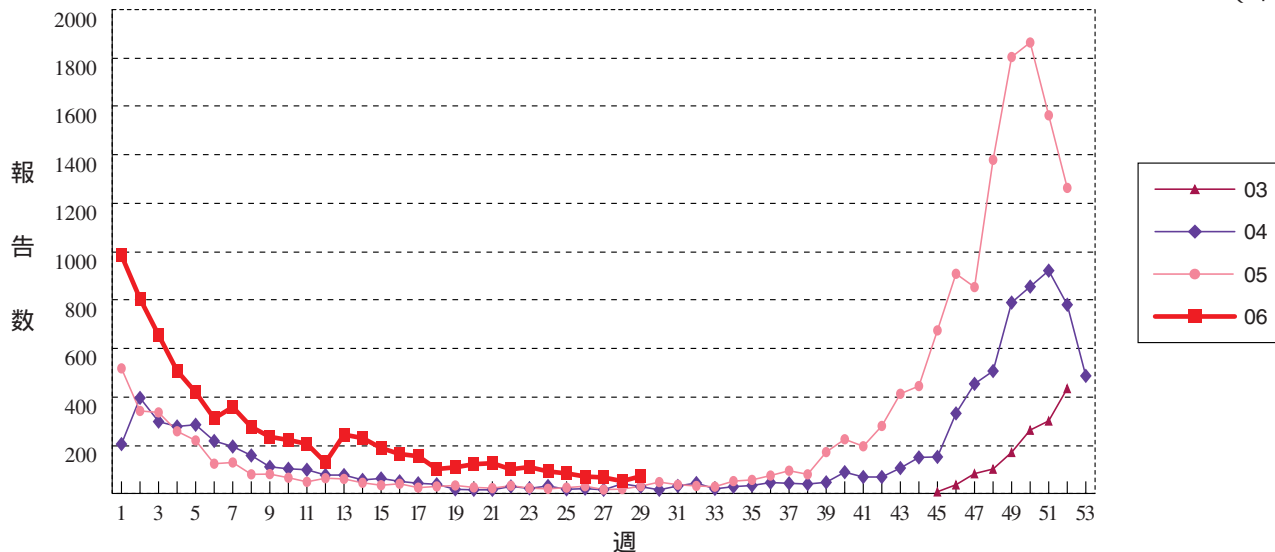
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





29週のデータ

注1)表中の報告数は7月27日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2)また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年29週

	エボラ出血熱		クリミア ・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器 症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性 大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	223	-	-	2	47	-	15	125	1289	-	42	-	-	3	230	-	14
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	4	22	-	11	-	-	-	12	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	21	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	17	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	47	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	9	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	1	-	-	1	8	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	5	85	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	7	-	-	-	3	-	-	3	56	-	-	-	-	-	6	-	-
千葉県	-	38	-	-	-	4	-	1	9	48	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	-	30	-	-	-	14	-	9	13	96	-	2	-	-	-	23	-	-
神奈川県	-	9	-	-	-	6	-	1	10	55	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	8	-	-	-	1	-	-	1	3	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	10	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	34	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	1	-	1	1	12	-	2	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	1	3	-	-	1	1	-	-	3	27	-	-	-	-	-	5	-	-
愛知県	-	16	-	-	-	4	-	2	12	79	-	3	-	-	-	16	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	4	15	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	1	3	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	1	-	-	4	17	-	-	-	-	-	8	-	-
大阪府	1	52	-	-	1	6	-	1	5	116	-	-	-	-	-	33	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	-	9	72	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	46	-	-	-	-	-	13	-	-
広島県	1	4	-	-	-	-	-	-	2	39	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	1	9	-	-	-	1	-	-	3	58	-	1	-	-	-	7	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	3	5	-	-
熊本県	1	1	-	-	-	-	-	-	1	41	-	4	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	17	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	24	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	16	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	2	170	-	23	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	-	33	-	-	1	3	-	-	7	230	-	-	12	393
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	1	15
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	2	23
東京都	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	2	101
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	2	37
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	22	-	-	-	28
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	11
大阪府	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	1	48
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	2	26
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	3
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	4	136	-	99	-	8	-	90	1	75	11	676	1	49	-	9	-	-
北海道	-	4	-	3	-	-	-	5	-	6	-	18	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	6	-	-	-	1	-	2	1	19	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	6	-	-	-	4	-	2	1	22	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	2	-	14	-	-	-	3	-	5	1	28	-	-	-	-	-	-
東京都	-	20	-	4	-	5	-	10	-	10	2	227	-	14	-	1	-	-
神奈川県	-	5	-	2	-	1	-	7	-	4	-	36	-	4	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-	11	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	2	-	-	-	3	-	5	-	10	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	3	-	-	-	3	1	8	2	59	-	2	-	1	-	-
三重県	-	6	-	3	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	15	-	6	-	1	-	4	-	3	-	71	-	8	-	1	-	-
兵庫県	1	14	-	4	-	-	-	3	-	5	1	24	-	1	-	-	-	-
奈良県	1	4	-	1	-	-	-	-	-	2	-	9	1	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	2	-	-	-	2	-	1	-	4	-	2	-	-	-	-
広島県	-	5	-	7	-	-	-	4	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	4	-	7	-	-	-	2	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	334	1	51	-	-	-	42	-	-
北海道	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	4	-	1	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	8	-	5	-	-	-	1	-	-
東京都	1	59	-	4	-	-	-	5	-	-
神奈川県	-	13	-	3	-	-	-	9	-	-
新潟県	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	25	-	1	-	-	-	-	-	-
三重県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	19	-	2	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	12	-	1	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	22	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	23	-	2	-	-	-	1	-	-
大分県	-	5	1	1	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	11	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	716	0.16	3964	1.32	3201	1.06	8497	2.82	3719	1.24	5414	1.80	1161	0.39	2196	0.73	25	0.01
北海道	45	0.20	236	1.65	223	1.56	209	1.46	324	2.27	102	0.71	45	0.31	85	0.59	-	-
青森県	104	1.60	27	0.64	20	0.48	54	1.29	77	1.83	6	0.14	15	0.36	24	0.57	-	-
岩手県	26	0.41	4	0.10	30	0.77	56	1.44	32	0.82	5	0.13	2	0.05	15	0.38	-	-
宮城県	1	0.01	33	0.54	78	1.28	185	3.03	89	1.46	91	1.49	18	0.30	55	0.90	1	0.02
秋田県	17	0.31	28	0.80	47	1.34	77	2.20	47	1.34	10	0.29	35	1.00	19	0.54	2	0.06
山形県	3	0.06	22	0.73	45	1.50	48	1.60	61	2.03	2	0.07	22	0.73	19	0.63	-	-
福島県	2	0.03	24	0.50	73	1.52	147	3.06	73	1.52	40	0.83	22	0.46	37	0.77	-	-
茨城県	4	0.06	160	2.16	125	1.69	137	1.85	98	1.32	24	0.32	23	0.31	39	0.53	-	-
栃木県	1	0.01	50	1.09	30	0.65	52	1.13	50	1.09	173	3.76	25	0.54	34	0.74	-	-
群馬県	5	0.05	73	1.18	73	1.18	208	3.35	107	1.73	50	0.81	11	0.18	60	0.97	-	-
埼玉県	3	0.01	300	1.88	206	1.29	523	3.27	272	1.70	418	2.61	99	0.62	127	0.79	-	-
千葉県	2	0.01	170	1.40	128	1.06	279	2.31	160	1.32	67	0.55	65	0.54	91	0.75	4	0.03
東京都	2	0.01	156	1.11	131	0.94	386	2.76	144	1.03	106	0.76	67	0.48	92	0.66	-	-
神奈川県	-	-	366	1.82	248	1.23	527	2.62	174	0.87	152	0.76	81	0.40	127	0.63	2	0.01
新潟県	1	0.01	55	0.90	79	1.30	103	1.69	88	1.44	145	2.38	24	0.39	46	0.75	-	-
富山県	-	-	53	1.83	27	0.93	129	4.45	43	1.48	28	0.97	8	0.28	18	0.62	-	-
石川県	1	0.02	19	0.66	32	1.10	96	3.31	42	1.45	97	3.34	3	0.10	21	0.72	-	-
福井県	-	-	22	1.00	38	1.73	192	8.73	18	0.82	376	17.09	5	0.23	20	0.91	-	-
山梨県	-	-	5	0.22	6	0.26	28	1.22	15	0.65	13	0.57	7	0.30	11	0.48	-	-
長野県	2	0.02	86	1.56	59	1.07	135	2.45	106	1.93	135	2.45	17	0.31	20	0.36	-	-
岐阜県	3	0.04	68	1.28	32	0.60	44	0.83	52	0.98	380	7.17	22	0.42	33	0.62	-	-
静岡県	-	-	146	1.70	102	1.19	318	3.70	94	1.09	462	5.37	69	0.80	72	0.84	-	-
愛知県	4	0.02	225	1.24	211	1.16	379	2.08	262	1.44	938	5.15	121	0.66	145	0.80	1	0.01
三重県	4	0.05	112	2.49	84	1.87	195	4.33	45	1.00	208	4.62	23	0.51	41	0.91	1	0.02
滋賀県	4	0.08	31	0.97	27	0.84	50	1.56	48	1.50	150	4.69	15	0.47	10	0.31	1	0.03
京都府	1	0.01	117	1.60	57	0.78	252	3.45	69	0.95	66	0.90	37	0.51	41	0.56	1	0.01
大阪府	9	0.04	250	1.32	172	0.91	619	3.28	184	0.97	169	0.89	43	0.23	138	0.73	3	0.02
兵庫県	1	0.01	132	1.03	127	0.99	426	3.33	132	1.03	287	2.24	45	0.35	83	0.65	-	-
奈良県	-	-	71	2.03	19	0.54	73	2.09	21	0.60	76	2.17	-	-	15	0.43	-	-
和歌山県	2	0.04	42	1.35	24	0.77	58	1.87	59	1.90	80	2.58	11	0.35	24	0.77	-	-
鳥取県	-	-	20	1.05	19	1.00	100	5.26	12	0.63	5	0.26	12	0.63	13	0.68	-	-
島根県	-	-	34	1.55	23	1.05	90	4.09	25	1.14	5	0.23	8	0.36	16	0.73	-	-
岡山県	2	0.03	55	1.02	24	0.44	163	3.02	48	0.89	91	1.69	5	0.09	29	0.54	3	0.06
広島県	2	0.02	79	1.10	93	1.29	244	3.39	54	0.75	29	0.40	23	0.32	49	0.68	2	0.03
山口県	3	0.04	46	0.94	51	1.04	214	4.37	26	0.53	28	0.57	10	0.20	38	0.78	-	-
徳島県	-	-	20	0.95	18	0.86	41	1.95	46	2.19	65	3.10	1	0.05	15	0.71	-	-
香川県	1	0.02	39	1.22	12	0.38	57	1.78	23	0.72	60	1.88	2	0.06	23	0.72	1	0.03
愛媛県	3	0.05	68	1.84	29	0.78	122	3.30	50	1.35	30	0.81	14	0.38	37	1.00	-	-
高知県	-	-	19	0.63	15	0.50	39	1.30	19	0.63	39	1.30	4	0.13	20	0.67	-	-
福岡県	17	0.09	128	1.07	112	0.93	470	3.92	131	1.09	68	0.57	25	0.21	132	1.10	2	0.02
佐賀県	1	0.03	48	2.09	26	1.13	31	1.35	20	0.87	6	0.26	5	0.22	30	1.30	-	-
長崎県	19	0.27	44	1.00	27	0.61	108	2.45	22	0.50	15	0.34	26	0.59	32	0.73	-	-
熊本県	25	0.31	29	0.60	50	1.04	244	5.08	48	1.00	63	1.31	12	0.25	56	1.17	-	-
大分県	5	0.09	46	1.28	43	1.19	217	6.03	68	1.89	23	0.64	3	0.08	44	1.22	1	0.03
宮崎県	32	0.54	99	2.75	49	1.36	202	5.61	50	1.39	7	0.19	21	0.58	56	1.56	-	-
鹿児島県	5	0.05	83	1.48	39	0.70	132	2.36	61	1.09	16	0.29	5	0.09	31	0.55	-	-
沖縄県	354	6.10	24	0.71	18	0.53	38	1.12	30	0.88	8	0.24	5	0.15	13	0.38	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	9	0.00	8951	2.98	32	0.01	4850	1.61	12	0.02	842	1.35	10	0.02	43	0.10	143	0.32
北海道	-	-	762	5.33	2	0.01	404	2.83	-	-	20	0.69	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	233	5.55	-	-	80	1.90	-	-	9	0.82	-	-	-	-	5	0.83
岩手県	-	-	123	3.15	-	-	69	1.77	-	-	10	0.83	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	-	-	503	8.25	-	-	128	2.10	3	0.25	3	0.25	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	49	1.40	-	-	20	0.57	-	-	4	0.57	-	-	-	-	6	0.75
山形県	-	-	118	3.93	-	-	33	1.10	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	0.40
福島県	-	-	193	4.02	-	-	120	2.50	-	-	21	1.75	-	-	1	0.17	-	-
茨城県	-	-	215	2.91	2	0.03	110	1.49	-	-	49	3.50	-	-	-	-	2	0.33
栃木県	-	-	68	1.48	-	-	66	1.43	1	0.08	22	1.83	-	-	-	-	4	0.57
群馬県	-	-	87	1.40	-	-	164	2.65	-	-	55	3.93	-	-	1	0.13	7	0.88
埼玉県	1	0.01	306	1.91	1	0.01	286	1.79	-	-	87	2.18	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	1	0.01	366	3.02	5	0.04	154	1.27	1	0.03	37	1.19	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	265	1.89	-	-	103	0.74	1	0.07	13	0.93	-	-	-	-	5	0.20
神奈川県	-	-	435	2.16	10	0.05	312	1.55	-	-	130	3.33	-	-	1	0.13	1	0.13
新潟県	-	-	154	2.52	1	0.02	230	3.77	-	-	5	0.50	-	-	1	0.08	10	0.83
富山県	-	-	68	2.34	-	-	34	1.17	-	-	3	0.43	2	0.40	1	0.20	4	0.80
石川県	-	-	51	1.76	-	-	11	0.38	-	-	8	1.14	-	-	1	0.20	5	1.00
福井県	-	-	25	1.14	-	-	10	0.45	-	-	-	-	-	-	5	0.83	2	0.33
山梨県	-	-	27	1.17	-	-	56	2.43	-	-	4	0.50	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	292	5.31	-	-	157	2.85	-	-	18	1.80	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	2	0.04	87	1.64	-	-	25	0.47	-	-	11	1.10	-	-	5	1.00	1	0.20
静岡県	-	-	258	3.00	-	-	209	2.43	-	-	18	0.90	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.01	543	2.98	-	-	210	1.15	1	0.03	19	0.54	-	-	1	0.08	3	0.25
三重県	-	-	87	1.93	-	-	98	2.18	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	67	2.09	-	-	18	0.56	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	120	1.64	1	0.01	74	1.01	-	-	14	0.88	-	-	1	0.17	1	0.17
大阪府	1	0.01	586	3.10	-	-	269	1.42	1	0.02	31	0.74	1	0.10	1	0.10	21	2.10
兵庫県	2	0.02	563	4.40	2	0.02	191	1.49	-	-	32	0.94	-	-	2	0.18	-	-
奈良県	-	-	97	2.77	-	-	17	0.49	-	-	5	0.56	1	0.17	2	0.33	2	0.33
和歌山県	-	-	186	6.00	-	-	21	0.68	-	-	1	0.25	-	-	2	0.18	2	0.18
鳥取県	-	-	49	2.58	1	0.05	37	1.95	-	-	1	0.33	-	-	2	0.40	2	0.40
島根県	-	-	75	3.41	-	-	57	2.59	-	-	1	0.33	-	-	4	0.50	-	-
岡山県	-	-	113	2.09	4	0.07	92	1.70	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	162	2.25	2	0.03	61	0.85	1	0.05	24	1.26	-	-	5	0.24	10	0.48
山口県	-	-	192	3.92	-	-	65	1.33	-	-	14	1.56	-	-	-	-	5	0.56
徳島県	-	-	62	2.95	-	-	36	1.71	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	94	2.94	1	0.03	46	1.44	1	0.33	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	167	4.51	-	-	47	1.27	-	-	36	4.50	-	-	-	-	8	1.33
高知県	-	-	114	3.80	-	-	11	0.37	1	0.33	4	1.33	1	0.14	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	401	3.34	-	-	139	1.16	1	0.04	29	1.12	1	0.07	1	0.07	2	0.13
佐賀県	-	-	65	2.83	-	-	17	0.74	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	1	0.17
長崎県	-	-	50	1.14	-	-	27	0.61	-	-	13	1.63	-	-	-	-	6	0.50
熊本県	-	-	121	2.52	-	-	38	0.79	-	-	26	2.89	4	0.27	2	0.13	1	0.07
大分県	-	-	141	3.92	-	-	69	1.92	-	-	3	0.60	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	147	4.08	-	-	109	3.03	-	-	19	4.75	-	-	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	-	-	57	1.02	-	-	279	4.98	-	-	7	1.00	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	7	0.21	-	-	41	1.21	-	-	17	1.70	-	-	-	-	5	0.71

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年29週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	-	-	71
北海道	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	2	0.18	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	6
鹿児島県	2	0.17	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	18

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年29週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年29週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第29号 2006年8月4日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。